

鎌倉市公共施設再編計画基本方針（案）に対する意見募集の結果について

※ この一覧表では、今回、意見公募を実施させていただきました、鎌倉市公共施設再編計画基本方針（案）に関することを回答しており、その他、市政に関連するご意見については、関係課にお伝えします。なお、この整理票の「該当ページ」欄及び「原文」欄は、提出された方の記載内容をそのまま掲載しています。また、複数の項目にご意見をいただいたものについては、項目（分類）ごとに分けて掲載している場合があります。

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
1	17	検討 体制 等	切実な現実にも拘らず、どこか他人事のような文章であるが、シンクタンクに依頼したものか。	全体	切実な現実にも拘らず、どこか他人事のような文章で、これはどこかのシンクタンクに依頼したものでしょうか。	●鎌倉市公共施設再編計画基本方針（以下「本基本方針」という。）の策定支援等に関しては、コンサルタントに一部業務を委託していますが、作成・審議は、事務局（市）と公共施設再編計画策定委員会（以下「委員会」という。）が担っています。 ●平成25年度以降の体制については検討中ですが、委員会は、現行の外部学識経験者の方のほか、市民の代表の方を交え、検討を行う予定です。 ●本基本方針は、今後の公共施設再編計画（以下「再編計画」という。）の理念となるものであり、公共施設の分析、客観的な必要性を整理して、それを背景に専門的な視点で審議する必要があると思います。 このため、外部組織である委員会について、条例を制定して設置したものです。 また、策定支援等業務の委託については、効果的・効率的に業務を進めるため、本基本方針策定に必要な情報や知識知見などの提供及び技術的な支援を受けることを目的として実施したものです。 ●本基本方針策定後は、5つの取組方針（アクションプラン）でも掲げている「横断的な庁内施設管理部門の設置」、ロードマップに示した「庁内推進組織の充実」や「庁内プロジェクトチームの設置」など、体制整備を図ることで公共施設再編の取組を推進していきます。
2	28		施設の複合化は避けて通れないが、庁内でマネジメントする組織では進まない。	13.現況と削減、16.改善の視点、19.アクションプラン、20～まとめ、24.ロードマップ、30.モデルパターン、35.施設配置	1.全体像は把握できるように、常識的に纏められている。 →整理No.18参照 2.最もなことを総花的に列挙してあるが、特に重点を置く事項についてはパコメの意見を聴いて、集約するということか？ →整理No.18参照 3.施設の複合化、集約化は避けて通れないことであるが、庁内でマネジメントする組織を作っているのは埒はあかない。 4.人件費の比率が25%くらいであり、これを削減し、サービス低下を招かないようにするには市民活動団体を活用することが一番効果的であると思うが、役所の紐付きにしないことが重要である。 →整理No.46参照 5.上記3項審議する委員会の委員を民間から募って着手することから始めていただきたい。その結果に基づいた管理体制を上記4項の市民活動団体に委嘱し、自主管理させること。 →整理No.4参照 6.鎌倉市の行政は市民活動団体に対する認識が他の自治体に比し低いことが心配である。 →整理No.46参照	
3	34		なぜ、外部組織や委託が必要だったのか。	P1、P2	市民生活に深く関わることで、きちんと理解したいと思います。H18年度より庁内組織をたちあげ、研究を深め実態を把握し、必要なデータの収集を始め、H24.10月識考etc.による外部組織を立ち上げ進めてきたと書かれていますが、なぜ、外部組織が必要だったのか、又、予算がひっぱくした状態で、どれだけの手当てを払っているのか市民にはわかりません。計画策定事業を委託する民間業者も予算約600万円で決定された様ですが、こどもたちに健全な財政を残すためにという呼びかけにもふさわしくないと 생각합니다。	
4	28		施設の複合化等は、民間から委員を募って着手し、その結果に基づいた管理体制について市民活動団体に委嘱し、自主管理させること。		5.上記3項審議する委員会の委員を民間から募って着手することから始めていただきたい。その結果に基づいた管理体制を上記4項の市民活動団体に委嘱し、自主管理させること。 →全文は整理No.2参照	
5	47		公共施設の地域分散について、それぞれのセクションで議論もしないで決めてはならない。	（記載なし）	地域分散について、それぞれのセクションで議論もしないで机上空論で決めるな。本気で市民の意見を求めるなら、全ての公共施設に基本方針（案）を置くべき。私は自分でパソコンから打ち出した。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
6	19	検討 体制 等	1か月弱で意見公募を締め切るのは早すぎる。 公共施設を減らすことが前提で、意図的に進めているとしか思えない。 行政サービスの視点に立ってほしい。	(記載なし)	☆市民の意見を1か月弱で締め切るのは早すぎます。市民生活に大きく影響をおよぼすのに、内容がよくわからないまま決めてしまう手続きのし方の段階で疑念がでてしまいます。 ☆その内容を読んで意見を言うには何度も繰り返しがあり、表はわかりにくく、公共施設を減らすのが前提で、意図的にすすめているとしか思えない。 行政サービスの視点にたってほしい。	●公共施設の更新問題の抱える緊急性から、速やかに基本方針や再編計画の策定を推進する必要がありますと考えています。 意見公募に関しては、鎌倉市意見公募手続条例による重要な政策等にあたると考え、条例の規定に基づき、30日間という期間を設定しました。 平成24年度から本格的に開始したこの取組は、広報かまくら、ホームページ、再編計画ニュース、市民シンポジウムなどを通じて、周知等に努めてきたところです。 いただいたご意見は平成25年度以降も続くこの取組に活かしていきたいと考えています。
7	19		公共施設を経営するという考え方は、行政コストと市民サービスを対立させ、市民に奉仕する行政でなくなる。 このような大転換を短時間で十分に意見を聞かずに決めることは市民不在である。	☆公共施設再編計画基本方針、マネジメントの大方針(p12)	「経営へと転換していく」とあるが公共施設を経営する考え方は行政「コスト」と市民サービスを対立させます。市民に奉仕する行政でなくなる。 こんな大転換「マネジメントの大方針」を「庁をあげて」「再編計画基本方針」を決めようとしている。短時間で十分に意見を聞かずに決めるのは市民不在です。市民の代表の議会ですら十分に議論したのですか。市長の意向ですか。	
8	25		市の意見はわかるが、ごく一部の市民が知っているだけだと思う。 もっと市民に関心を持つよう、そして、多くの市民の声を聞いて、再検討してほしい。 1か月弱での締切は早すぎる。 施設の複合化等には反対である。 行政サービスは現状維持してほしい。 高齢者には鎌倉までの外出は困難で、交通費の負担は大きい。	(記載なし)	大船行政センターを利用している者です。 今回 友人より聞き初めて知りました。 公共施設再編の取り組み経緯 確かにご意見わかりますが、取り組みのお知らせ等々 白書作成して情報掲載したと記載してありますが、ごく一部の市民が知っているだけだと思います。 もっと市民に関心持つよう、そして 多くの市民の声を聞いて 再検討してほしいです。 1か月弱での締め切りは早過ぎます。 施設の複合化・統廃合 等々 反対です。 行政サービスの現状 維持してほしいです。 高齢者には鎌倉までの外出困難、また 交通費かけての負担は大きいです。 一市民 高齢者の意見です。	
9	43		意見募集について、もっと長期間設けて、市民がもっと十分考える時間や、知る時間があってもおかしくないと思う。	(記載なし)	このパブコメについてですが、市民の大半の人は、このような計画がある事や、意見を募集していることすら、知らないと思うので、もっと、長期間設けて、市民がもっと充分考える時間や、知る時間があってもおかしくないと思います。 逆に、なぜ、このタイミングで、民営化計画を急いでやるのでしょうか？ と思いました。 正直言って、市長を疑いました。	
10	45		誰もが意見を出せるような配慮に欠けていると思う。	(記載なし)	・だれもが意見を出せるような配慮に欠けていると思いました。この膨大な資料を全部理解などできる人は少ないと思います。 ・一応「パブコメ」を求めたというアリバイ証明なのでしょうか？大切な問題、もっと時間をかけるべきではありませんか。 ・市民の皆さんへの、委員長根本氏の文章の中に中央自動車道笹子トンネル事故のことが書かれているのですが、老朽化していてしかたなかったのではなく、当然しなければならぬ対策をおこたってきたためにおこったことであり、これを例にあげられたことに、ずれを感じました。 当然しなければならぬことをほったらかしにして来たことが問題だったはずです。これを例に出されたのは、市は建造物にメンテナンスをしてこなかったのに等しいということになるのではありませんか！ ・立場の弱い人達が大変になることのない様考えて下さい。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
11	49	検討 体制 等	このやり方は、まるで一部の人たちで勢いづけて決めて行こうとしているようだ。	P22	このような重要な大きな事を進めるのなら、在住、在勤の人間から、想いや意見や知見を吸い上げようとして欲しい。何故しらない間に外部委託というやり方をするのか。藤沢市では総合計画を見習うとコンサルがもって来た案を採用しなかったそうだが、この鎌倉のやり方はまるで一部の人たちでガーッと勢いづけて決めて行こうとしているように見えて仕方がない。市民の税金のゆくえは市民が決めチェックする、これが市民の市民たるゆえんだ。直接決められない部分は市議に、というのが議会制民主主義。一体この決め方はそこにのっとっているのだろうか、深く憂慮している。	(前ページからの続き)
12	27		意見募集期間があまりに短いとは思わないか。延長してはどうか。	(記載なし)	1 市民には住所・氏名・年齢・電話の記入を求めているが、外部学識経験者については「策定委員会委員長」の名前だけというのはどういことでしょうか。まず知りたいところです。 2 たしかに多くの公共施設の老朽化は懸念されるところですが、「老朽化」はいまにはじまったことではありません。 なぜ、いま全面的な見直しを、しかも「外部学識経験者」なるものに委託してやられたのでしょうか。(案)の構成を見ますと、そこに鎌倉の特性は見られません。まるで大学のゼミの(型にはまったような)研究報告のようで、そこに「こころ」が感じられません。 3 策定委員会委員長の言われる「公共施設を今までどおり維持し、また、今まで以上に充実させたいと考えるのはおかしいことではありません」は、まったくその通りです。であるならば、「おかしいことではない」ことを基本に、老朽化・災害の対策を考えたいかがでしょうか。 この「再編計画基本方針」(案)の特徴は、「おかしいことではない」と言いながら、まるで違う結論に誘導していることです。 4 「財政」問題から説きはじめるのは最近の流行になっているのでしょうか。神奈川県も、公共施設の統廃合・民営化・利用料の値上げを計画したことから、いま「見直してほしい」という声が高まっています。鎌倉は、神奈川県の計画を後追いするつもりなのでしょうか。 5 いま大事なことは、おっしゃるとおりいつ起きるかわからない災害対策です。いまずぐにとりかからなければなりません、(案)にはその切実さが見られません。 6 公共施設の利用は、子どもたちから高齢者にいたるまで多様です。公共施設はコミュニケーションの場、文化的な感性を養う場です、とりわけ高齢者にとって「コミュニケーション」は大切です。出かけるだけで健康維持になりますし、それは予防医学としても大事です。高齢者を「外出しにくくする」ことがあってはなりません。 7 結論として 「公共施設再編計画基本方針」(案)を、基本的に見直してほしい。 →整理No.113参照 意見募集期間が1ヶ月弱とはあまりにも短いとは思いませんか？期間を延長してはどうでしょうか。 いま必要な老朽・災害対策を、個別に緊急に行うために、市民のみなさんの意見を聞いたらどうでしょうか。 →整理No.17参照 まず「財政問題ありき」の脅しには反対です。 →整理No.40参照	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
13	41	検討 体制 等	この本基本方針は、市民生活に大きく関わってくる重大な内容である、もっと多くの市民に知らせ、短時間で結論を出さないよう強く要望する。	(記載なし)	生涯学習センター、図書館、体育館などいつも利用している市民として、公共施設再編計画基本方針(案)を読み、あまりにも市民の気持ちと離れた案に、驚きました。 公共施設を安全に管理するのは、自治体の責務です。笹子トンネルの事故は、管理者が国交省で国が責任を負うべきことを怠ったためにおこったのです。それを「鎌倉でも起きるかもしれない」と市民を不安にさせて、計画(案)を実行しようとしているようにしか思えません。 公共施設の老朽化について「市民との危機意識の共有」とは、どういうことでしょうか。今まで建て替えや補修について、財政面の見通しも持たずに運営してきた市の責任です。ここに来て財政難を理由に市民の不便を考えずに、コストを抑えようとするだけだけを理由に公共施設の「広域化」「集約化」「行政サービスの見直し」を提案することは全く納得できません。 図書館は、無料で等しく市民が情報を得ることができて、学ぶことができる施設です。専門職の司書からの適切なアドバイスがあり、より充実した知識を取り入れることができます。なぜ、指定管理者制度の事例として武雄市のツタヤが具体的に掲載されているのでしょうか？教育委員会とは十分な話し合いがされているのでしょうか。2008年6月3日付参議院文教科学委員会での、当時の文部科学大臣の答弁によれば「公立図書館への指定管理者制度の導入は長期的視野に立った運営が難しくなり、図書館になじまない、職員の研修機会の確保や後継者の育成等の機会が難しくなる、やっぱりなじまない」と答えています。 指定管理者制度の導入は拙速に進めるべきではないと考えます。 この計画(案)は、市民生活に大きく関わってくる重大な内容です。もっと多くの市民に知らせ、短時間で結論を出さないよう強く要望します。 世界遺産の登録を目指している鎌倉は、市民に不便を強いるのではなく、住みやすい豊かな街であってこそです。	(前ページからの続き)

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
14	32	検討 体制 等	基本方針を作っている場合ではなく、これから計画を作るという工程は遅すぎる。	全体	①NHK特集で浜松、秦野が取組をもう行っているのに、こんなものを作っている場合かと思いました。まだこれから計画を作るなんて、本当に遅すぎます。利用者の命をどう考えているのでしょうか。	●本市では平成21年度から公共施設白書作成の取組を開始し、平成24年度内にこの基本方針を策定する予定です。 少しでも早くこの問題を解決すべく、市民の皆さんのご意見を伺いながら、今後はより一層のスピード感を持ち対応していきます。
15	18		既存の遊休施設の徹底利用と効率化のために、施設の利用計画は上席の管理者が全体を見渡して一元管理し、検討のスピードを速めてほしい。	(記載なし)	事務局が相当の労力をかけて「公共施設白書」を作成し、それにもとづいて今回の基本方針をまとめ、公益施設(注1)の一斉の老朽化/洗い替えの時期の到来という危機に警鐘を鳴らした点については多としたい。しかし、これを個々の公益施設に対する指針とするにはまだ相当の距離があるようにおもう。 (注1)この基本方針は、いわゆるインフラ(道路、橋りょう、下水道など)については別扱いなので(9頁参照)、私は広義の公共施設からインフラを除いたものを指して、以下「公益施設」という言葉を使うことにした。 事務局もそれを意識してか26・27頁において、これからのロードマップとして時系列との対比で多くの計画群を列挙しているが、計画実施のプロセスの大筋を市民に理解させる資料としては解りにくい面もあるかとおもう。 ここでは今後のプロセスとして強調されるべきポイントについて私の考えを述べたい。 ①老朽化対策コスト把握 小・中学校については、耐震診断・構造上の点検も進み、近未来の修理も個々の施設を対象に実施計画がたてられているようだが、それ以外の公益施設については、安全面からの点検がこれからといったところもある由である。今後点検を徹底し、個々の施設にたいする補強・補修・リノベーション・建替えなどの代替案も含めて、その予算・将来の行政コスト負担についての計数がおおまかでよいから呈示してほしい。そうでないとその整理・統合・廃止について判断できない。 →整理No.97参照 ②公益施設の真のニーズおよびその利用の実態把握 鎌倉において老いているのは施設だけではない。市民も老いていく。少子高齢化の先進(?)地域として、今後相当期間、高齢者・低所得者向け、子育て関連、など社会福祉についての公共サービス機能のニーズとその切実さは逐年増加すると予測される。市は基礎自治体としてそれに応えねばならない。 勿論その提供の仕方についての効率化を再考する必要があるが、そのサービス提供の場としてある程度の公益施設は欠かせないし、その機能維持・充実必須でもある。 市の窓口を巡っての私の調査によれば、待機者が600人に達するにもかかわらず、鎌倉市の「特養」施設の追加は来年竣工が予定される1棟(100人)のみで、その後の建設計画はなにもないとのこと、これでは切実な入居必要者に順番が回ってくるのは死んでからということになりかねない。身障者を含め住宅困窮者に対する公営住宅の提供についても整備計画は全く無く、ただ年間12軒ほどの空となる住宅を新規提供しているがその倍率は15倍とのことである。これでは基礎自治体としての最低義務を満たしているとは言い難い。 再編計画を論じるにあたっては、この際社会福祉に必須な公益施設の将来計画も併せて俎上にのせ、それとの兼ね合いについて市民を巻き込んだ議論が必要とおもう。 →整理No.111参照	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
					(前ページからの続き) ③既存・遊休施設の徹底利用と効率化 私が住んでいる笛田の教養センターでは、利用者は利用中であっても午後3時半に追い出される。掃除の都合だそう。需要があるのであれば、かかる時間制限は意味がなく、利用時間の延長を早急に計ってほしい。 また、鎌倉市は過去、野村総研をはじめ、また個人の資産家から邸宅などを多数寄贈されているとおもうが、その有効活用が進んでいるようにはみえない。 華頂の宮邸が開放されたようだが年何回という申し訳程度の邸宅開放が真の有効利用か疑わしい。鎌倉山にある扇湖山荘も未だにどう使われるのかわからない。施設の利用計画は、施設毎に担当課が分かれて検討しているとのことだが、上席の管理者が全体を見渡して一元管理し、かかる施設群有効利用の検討スピードを速めてほしい。遊休施設の活用は、再編計画推進に際しても、財政制約とニーズ間のギャップを埋める材料として有効とおもう。 ④税の使い方としての総合的検討 「再編計画基本方針」の25頁「総合的保全計画」・「財政との連動」の中で、考え方は既に盛られているのかもしれないが、①と②の作業を対比し、予算の枠という俎板の上で総合的に価値判断する工程が絶対に必要である。その際忘れてならないのは、この再編計画の外にあって現在進行中の金食い虫の開発プロジェクトの存在であり、それも同時に俎上にのせる必要があるということである。 その最たるものは「深沢まちづくり」プロジェクトであろう。おおまかな事業費、市の後年度負担などが、今もって市民に示されないまま、鎌倉市の大船整備事務所は新年度入りを期して都市計画手続きに持ち込もうと意気込んでいる。(注2) 新鉄道駅建設にかかる分担金含め200億円を超えると噂されるこのプロジェクトも視野にいて、検討願いたい。かかる開発プロジェクトについては、貴重な市の保有地の売却など特別勘定の内部で操作されることも予想されるので、一般勘定だけでなく、特別勘定での負担も併せて真に税の使い方、資産処分としてバランスのとれたものなのかどうか総合的に検討されたい。 (注2) 本年1月付の第3次鎌倉市総合計画－第2期基本計画－総括表化結果報告書48頁参照 ⑤市民力の活用を！ 掲題の「基本方針」の24・25頁には、市民のニーズに的確に応えるための施設運営には、地域住民・NPOなどの民間活力の活用が必要だとうたっている。全く同感であるが、そもそもNPOなど市民の公益活動の推進という面での鎌倉市の支援については、物足らぬ点がある。 今、私は藤沢市民と一緒に市民活動に携わっているのだからわかるのだが、市民活動についてまわる大量の印刷作業に適した場所、メンバーが安直に集い、意見交換し、また、他のNPOメンバーとも相互交流し、さらに、関連の情報収集も容易な居場所が、藤沢市では市民活動のために用意されている。鎌倉市にもNPOセンターと銘うった場所が2か所あるにはあるのだが、場所が狭いこともあり、とても藤沢市のセンター並みの機能が果たせるとはおもえない。鎌倉市が真に市民力の活用を考えるのであれば、この点は藤沢市に見習った方がよい。	(前ページからの続き)

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
					(前ページからの続き) 私はこの頃時間にゆとりが出てきたことをいいことに、多くの委員会に傍聴人として参加している。そこで気付いたことだが、どうもお題目とは裏腹に、鎌倉市には、直接の利害関係に彩られていない一般市民の意見は余り尊重しない風土があるようだ。まず委員会における市民を対象にした公募による傍聴人はどの委員会も僅か5人に限定されており、発言権のある委員のうち公募による市民の数はせいぜい2人あるかないかである。委員会によっては、土地の権利者、自治会代表などが加わっているが、会議をおもに主導するのは、有識者としての外部の専門家であることが多い。外部の専門家の知見は勿論尊重しなければならぬが、鎌倉市の場合は、地元の専門家・有識者も多数いるわけであり、もう少し市民目線の地域事情を踏まえた建設的な議論があってもよいように思う。 一番問題なのはいわゆる「パブコメ」における市民意見の扱いである。「パブコメ」は条例にもとづく市民意見についての正式の公募であるが、市民の数々のもっともな問題提起も「貴重なご意見として伺っております」の形で一言による処理対応で、後になっても納得のいく回答が返されないことが多い。もともと反芻し検討し直す時間などが予定しておらず、委員会が終了すればすぐ「パブコメ」、その締め切りから余り時間をおかずに議会報告の形で日程が組まれているケースが多いが、この場合鎌倉市の「パブコメ」は単なる手続き、形だけの意見収集と考えざるを得ない。 最近のNHKの報道によれば、他の自治体(例 多摩ブラザ、青葉区など)のなかには「暮らし易い街についての議論」を「おしゃべりサロン」、「コミュニティー・カフェ」などの形で行政が場を提供し、住民同士が知恵を交換する場とし、また、行政に協力し地域の事実上の担い手として汗をかく人材の掘り出しにも役立てている由である。 再編計画において、鎌倉市が市民の理解と協力を必須とするなら、市民間のコミュニケーションを支援し、鎌倉を愛する熱意ある市民また有識者が建設的な意見をいえる開かれた場とか仕組み、自由かつ達に話合える出来れば常設の場を、なるべく早くかつ多く用意することであろう。議員も、行政側からも、かみしもを脱いだ形での参加を願い、盛り上げてほしい。 その場を設定するに当たり、学校の施設または図書館を一部開放し、交流の拠点にした自治体もあると聞く。今後増加が予測される民間の空き家も場として活用できるかもしれない。 28頁の「民間活力による効率化」のなかで事例として図書館の窓口業務のツタヤへの業務委託の件があげられているが、民間の諸々の知恵を求めることは望ましいにしても、市民に対するサービスの中核としての図書館業務の見直し(注3)が模索されている昨今、かかる民間への丸投げは根本的な解決には繋がらないだろう。 (注3)例としては、島根県県立図書館があげられる。→ただ読む図書館から資料・情報検索センター/コミュニティーの中核拠点へ→ →整理No.52参照	(前ページからの続き)

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
16	7	検討 体制 等	市民生活を知らない専門家が考えたもので、市民要求の観点がなく、市民としては納得できない。	全体	施設の複合・集約化と行政サービス提供のあり方の大幅な見直しで、財政支出を抑えようとするものである。 市民生活を知らない「専門家」が考えたもので、市民要求の観点は全くない。こんなものが具体化されれば、公共施設は遠くなり、不便でサービスの悪い街になるだろう。 住みやすい鎌倉市を求める市民としては納得できない。	●本基本方針の策定にあたって、市民アンケートを実施しています。その概要についても、基本方針に掲載することとします。 ●公共施設のあり方等については、平成26年度の策定を目指す再編計画の策定過程においても、広くご意見を伺っていきます。
17	27		今必要な老朽・災害対策を、個別に緊急に行うために、市民の意見を聞いたらどうか。		いま必要な老朽・災害対策を、個別に緊急に行うために、市民のみなさんの意見を聞いたらどうでしょうか。 →全文は整理No.12参照	
18	28	検討 体制 等	全体像は常識的にまとめられている。 特に重点を置く事項についてはパブリックコメントを反映するということか。	13.現況と削減、16.改善の視点、19.アクションプラン、20～まとめ、24.ロードマップ、30.モデルパターン、35.施設配置	1.全体像は把握できるように、常識的に纏められている。 2.最もなことを総花的に列挙してあるが、特に重点を置く事項についてはパブリックコメントの意見を聴いて、集約するというのか？ →全文は整理No.2参照	●今回実施したパブリックコメントは、本基本方針の全体についてのご意見を公募したものです。
19	21	検討 体制 等	結論を先送りしないことは当然だが、その施策を実際に実現化するためのロードマップは、短・中・長期に分けて計画段階で策定すべきであり、PDCAによる各段階での計画実現化のための管理システムを併せて導入することもマネジメント面での必須である。	(記載なし)	従来になかったマネジメントの考えを盛んに導入したと述べているが、そもそもマネジメントとはヒト、モノ、カネ、ノウハウ(情報、技術)の各保有資源を効率的に活用して健全運営していくことです。素案はモノ、カネのハード面の資源面に対してどうするかを主に論じているが、もっとヒト、ノウハウのソフト面を具体的にどうするかも織り込むことが肝要です。 又、対応を先送りしない基本施策は当然ですが、その施策を実際に実現化するためのスケジュール化即ちロードマップは短・中・長期に分けて計画段階で策定すべきで、PDCAによる各段階での計画実現化のための管理システムを併せて導入することもマネジメント面での必須です。	●公共施設再編に関するロードマップについては、PDCAを取入れたものをお示しているところですが、再編計画を実施していく段階では、より詳細な管理を行いたいと考えています。
20	31	検討 体制 等	市議会での方針討議は済んでいるのか。	全般③	市民の代表である市議会での方針討議は済んでいますか？議員の検討は聞いた覚えが無いので問題に挙げておきます。	●公共施設再編の取組に関しては、市議会に対し、毎議会ごとに報告を行っています。
21	31		ロードマップにおいて、議会の承認はどう位置付けるのか。 議会の承認事項とすべきである。	24ページより	ロードマップの「再編計画・事業」は、議会の承認はどう位置付けるのでしょうか？再編の市民生活への影響は極めて大きいと予測されるので、承認事項とすべきです。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
22	29	検討 体制 等	アンケートは本当に市民の声をあ らわしているか。	(記載なし)	1こうなる(補修、更新資金がなくなる)までに至った総括がない 他の自治体でも起きているというのは理由にならない。市がこれまでの投 資案件の採択と管理の仕組みの問題点と、組織体制に漂う職員のカル チャーをよく分析、問題が奈辺にあるかを理解したうえで対策をうつことが重 要で、同じ問題に陥らないための最良の方策であるとする →整理No.122 参照 2アンケートは本当に市民の声をあらわしているか。 男女、年齢等の属性を用いるべき、家庭では多くの場合、男性である大人 の夫が作成する、これは鎌倉市民の平均ではない。 3資金面からの設備投資の可否の判断がない 民間では設備投資の可否は所定年数の利益で投下資本が回収できるか どうかで判断する、そして回収後は只で設備が使える、高収益をもたらすの で、それが投資の意欲付けの1つとなっている。この考え方は自治体でも使 え、個別事業の可否の判断はもとより市全体の事業計画が回っているかの 判断の材料としても有効で、導入すべきである →整理No.123 参照 4事業投資の材質等の基準がなかったのでは 「豪華なものではなく目的にかなう設備をつくる」を基準とすべき ① 安く丈夫なもの(30、40年しかもたないものは作らない) ② 簡素で内部の改造が容易なもの(外観共通、可動式パーティション等) ③ 増築が可能なもの、修繕が少なくて済むもの ④ 再利用、あるいは利用者の変化に柔軟に対応 小学校→中学校→集会所・体育館→老人施設、幼稚園併設 等 ⑤ 新設建物の概観、基本的構造等は出来るだけ共通にする→安価 →整理No.124 参照 5財政・財務からの要請を分かり易く説明すること ① 物件費に人件費が含まれているはず、正確な人員規模とコストを捉え、 表向きの人件費と扶助費を唐突に比較する手法は実態を捉え損ね問題を 複雑化させる恐れあり、回避されたい ② 全ての事業について事業期間中の収支見通しを作成、年度単位等で 収入の見通しと比較し、不足は調達を企画、修繕積立て除外後の余剰を将 来の過不足に充当できる運用とする ③ 予算は使いきるもの・・・という考えを捨てる→市のカルチャーの正常 化、そのために複式簿記を採用 ④ 必要な設備は新設、保存する、ただし圧縮の余地はないか検討 ⑤ 補修は安価かつ安全な方式を案出適用し、他設備の補修と共通化をは かる →整理No.126 参照 6下水道について 谷戸の多い鎌倉では現在の下水道方式は、総延長が膨大、災害時の被 害は甚大となるのは必至、谷戸での新設は集中管理の浄化槽方式のほう がよいのでは 7ゴミ処理施設について 今泉廃止、名越延長更新、収集は「個別、有料」で決まったような情報があ るが、本当にこれでよいのか、このままでは個別収集コスト増で財政は逼迫 し、ゴミステーションをきっかけに築かれたコミュニティは崩壊し、鎌倉はナポ リ化してしまう。	●市民アンケートは、本市に在住の18歳以上の 2,000名の方を無作為に抽出して行っており、約 40%の回答が得られたため、参考にすることがで きる結果が得られたと考えています。

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
					(前ページからの続き) 今泉自治会との交渉経緯を公開、広く知恵を募り解決策を探る、次に収集は量圧縮のためゴミ袋を有料とし、個別収集は行わずステーション収集、袋売上は処理場修繕積立にてあてる、でいかがか 8公共施設マネジメントについて ① 次の検討が欠かせない 事業開始時 代替案の有無とそれらの利害得失と目的達成度 計画の老人施設は学校跡地等を利用できないか 開業後 収入・支出は予定通りか点検する 目的達成時 物件は他へ転用、もしくは市場価格での売却を原則 ② 人件費等の圧縮 色々理由があったものとするが、歳入の54%が人件費・物件費で真水は46%というのは如何にもおかしい、市民が望む行政サービスをしっかり捉え、それに応えつつ真水を増やす努力が求められている ③ 市民の望む施設 ニーズに沿う使い方ができる→豪華なものはいらない 管理の効率をあげ、事業を成功させ財政の負担が小さいもの そのために ・ 優秀な鎌倉市民ボランティアの活用、元気な高齢者、男性等 ・ 資産のビジネス化→適切な使用料の確保、空き時間の活用 他施設とのタイムシェア、不要資産の適切な処分、換金 ・ 市民のニーズには、工夫をかさね、応えようとする姿勢 ④ 目標の設定に最小値目標を採用するのは乱暴では 新設時の予算消化主義と同質の論理が漂い、安直な採用は危険であることを警告したい。 必要な事業は継続しながら削減の成果を挙げるためにどうしたらよいか、やはり個別の吟味を積み上げ、ロングタームの収支表で資金が回ることの確認が必要、このため修繕積立金の科目の導入、前述の収支計算表や貸借対照表の導入が分かりやすく、判断しやすい。 市の「基本方針」の「2改善の視点」は個別の積上げがなく毎年変わる収入との接点が不明となり分かりにくい ⑤ 改革は過去の反省から未来への教訓を得ることである。今回の「公共事業再編」により、これからの新規事業投資、途上管理、終了時処理の各実務へ何らかのフィードバックをすること ⑥ 「民間の活力」を正しく活用すること 闇雲に民間へ運用管理を丸投げせずに事業計画を全期間作成、修繕計画も含めた検討を行い適正なコストでの委託を行うこと(市が獲るべきものは獲るの姿勢) ⑦ 高コストの事業は全件個別に見直すこと、一律は全体の目標額作りの参考にはなるが個別には使えず、判断を誤る恐れあり 保全システムが分からない、もっと説明を。	(前ページからの続き)

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
23	17	現状、 試算 等	(財)自治総合センターの試算ソフト 以外の試算は必要ないのか。	8	自治総合センターの試算ソフト以外の試算は必要ないのでしょうか。	●更新費用の試算については、公共施設の将来の更新コストを試算し、現在の予算規模と比べておよそどのような想定となるかといったことを把握するための試算であり、全国的に用いられているソフトによるものです。 また、公共施設白書の作成時に同じソフトを用いて試算した結果を活用しているものです。
24	17	現状、 試算	施設を65%削減するという根拠は何か。	12	施設を65%削減の根拠は何でしょうか。	●施設を65%削減と計算した根拠については、次のとおりです。 現在の投資的経費(公共施設分)20.2億円/年と、試算結果による将来必要になる投資的経費(公共施設分)56.7億円/年を比べると約2.8倍になります。
25	19		40年先まで見越して、公共施設の維持・更新にかかるコストが2.8倍になるというのは脅しである。 相当の公共施設を廃止しなければならぬという結論には疑問がある。	☆削減目標・現在の状況、図表・公共施設整備のストーリー(P15)	40年先まで見越して、人口減を前提に、今の財政状況のもとでのコスト試算に問題があり、「今後の公共施設の維持・更新にかかるコストは年平均56.7億円となる」「2.8倍の負担増になる」は脅し。「相当の公共施設を廃止しなければならない」結論に疑問です。	この約2.8倍を1倍に引き下げるには、施設の保有量を1/2.8(約35%)にすることができれば可能です。
26	19		40年先まで予測した試算をもとに動かないでほしい。	☆将来の更新コスト(p.8・9)	「財団法人の試算ソフトで今後40年間に必要な更新コストを試算すると年平均56円必要で直近の2.8倍のコストが必要になる」は前提となる人口減少は不確定です。行政も情勢も財政状況も変わるのに今の財政状況と人口減少を前提に40年先まで予測した試算をもとに動かないでほしい。「10☆年間で建てた公共施設は全体の9%」なら当然「20年後は築30年以上が91%」になる、だから維持できないという結論は意図的です。図書館も会議室もあり市の手続きもできる行政センターがあることを再評価し維持し充実してほしい。要は市民目線かどうか。芸術館や武道館など豪華に建てたのが悔やまれる。	これは施設の保有量を現状の約35%に縮減するもので、言い替えれば約65%の施設の保有量を削減するという計算となります。 約65%の削減できれば問題は解決しますが、これは現実的ではありません。 この困難な状況について、公共施設マネジメントの手法を用いて、問題を解決するために本基本方針を策定し、公共施設再編に取り組むものです。
27	2	現状、 試算 等	腰越地域の人口減少傾向の推計は過大ではないか。	P.6	将来二十年後の地域別人口推計で、腰越地区が▲15.6%(4,014人)減となっているが、過大ではないか。 (理由) 腰越地区は、モノレール西鎌倉駅を中心として、東京方面へ通勤する世帯の比較的多い住宅地と、海岸地区で商業・自営業世帯等と近場への就業の比較的多い世帯住宅の混在した地域に大別できる。今まで腰越地区は、住宅等の廃止や地元経済の減退、少子化から人口減が続いてきたが、ほぼ底を打ったと考える。地区には、いまだ開発の余地ある土地が点在し、戸建て住宅や老人福祉施設などの建設も活発である。海岸地区の商業関連も新規出店など徐々に活発さを取り戻しつつある。少子化という減要素があるにせよ、他地域と比べ10ポイント以上の差は過大と言わざるを得ない。	●人口推計については、別途本市で作成、公表している本市将来人口推計調査報告書(平成24年3月)のデータを利用しています。
28	19		鎌倉を「人口減少傾向」として計算して、数字を出すのは危機感をあおるものと思えない。	☆人口の現状と課題(p5・6)	大船、玉縄地域はマンションが次々建ち小学校は空き教室などなく人口急増地域、大船地域とともに深沢や玉縄も人口増加の可能性があり、20年先まで人口推計の予測は不可能です。鎌倉を「人口減少傾向」として計算して数字を出すのは危機感をあおるものと思えない。	●人口一人当たりの延床面積については、今後必要になる莫大な更新コストをどのように削減するかという試算にあたり、人口一人当たりの公共施設の延床面積1.95㎡/人について、改善の視点の一つとして設定しているもので、必ずしも1.95㎡/人まで公共施設を削減するものではありません。 ●玉縄地域の公共施設については、市役所本庁舎などの大きな公共施設がありませんので、人口一人当たりの公共施設の延床面積が少ない状況となっています。 なお、1.95㎡/人は規模の異なる自治体の公共施設の延床面積の最小値の平均であることから、試算上は妥当な設定であると考えています。

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
29	2	現状、 試算 等	公共施設の人口一人当たりの延床面積についてもっと論ずべきではないか。	P.17, 18	人口規模別の人口一人当たりの延べ床面積の最小値は平均で1.95㎡/人。それに従う削減面積が約18.5%となっており、必ずしも数値ありきでないと考えられているが、全体を通して本数値をもとに再編計画を策定していることから、本数値の本市への適用の正当性を、まずもっと論ずべきではないか。数値に人口規模による差が無いとのことだが、計画案の骨格をなす数値なので、地理的要因も含め多方面から検証すべきである。	(前ページからの続き)
30	23		玉縄地域の人口一人当たりの公共施設の延床面積は1.55㎡/人であり、目標値として採用した1.95㎡/人は厳しい目標と言えるか。	16～17頁	本市の目標数値に全国の最小値平均1.95㎡/人を採用していますが、玉縄地域の1.55㎡/人とした場合、実情から判断して厳しいと言えますか。	
31	23	現状、 試算 等	公共施設の利用実態及び老朽化の調査結果を十分に検証し、再編計画と事業実施に反映し、先見性と柔軟性をもって、社会・経済の変遷に耐えうるよう行政経営戦略とまちづくりの整合性を図りつつ実施してほしい。	全頁	本(案)を読み解いて、公共施設再編の必要性を大筋において認識することができました。 本(案)の内容は総花的であり、抽象的であるため、市民生活が今後どのような影響を受けるか、行政サービスにどの様に跳ね返ってくるか、具体的に把握し難いところがあります。 公共施設利用の実態及び老朽化の調査結果を十分に検証し、再編計画と事業実施に反映して頂きたい。 加えて、先見性と柔軟性をもって社会・経済の変遷に堪えうるよう行政経営戦略とまちづくりとの整合性を図りつつ実施して頂きたい。	●ご意見のとおり、各施設の利用実態や老朽化などの状況を正確に把握し、その上で今後の公共施設マネジメントを進めていきたいと考えています。 なお、再編計画の計画期間は40年間としていますが、本基本方針に記載がありますとおり、計画内容は次期基本計画と連動するとともに、財政状況や地域社会の状況変化等を踏まえて概ね12年ごとに見直しを行っていくこととしています。
32	26		市民との危機意識の共有、課題・対応を先送りにしないという基本姿勢は納得できるが、今後の公共施設再編計画の策定にあたっては、人口動態等の予測値の見直しを適宜行い、計画の策定・実施に反映させていくことを望む。	「鎌倉市公共施設再編計画のまとめ」のページ(A3)	■市民との危機意識の共有、課題・対応を先送りにしない、という基本姿勢は納得できる。しかし、基礎データとして40年後の将来予測を強調しているのは、危機意識を煽り、公共施設マネジメントの必要性に導く意図を感じる。今後再編計画の策定にあたっては、人口動態等の予測値の見直しを適宜行い、計画の策定・実施に反映させていくことを望む。	
33	23	現状、 試算 等	改修時期を35年に延ばした根拠を示されたい。	16頁	長寿命化と称して大規模改修時機を30年から35年に延ばしています。こまめに改修する方が長寿命化、コスト削減に繋がることがあります。改修時機を35年に延ばした根拠を示されたい。	●長寿命化については、今後必要になる莫大な更新コストをどのように削減するかという試算にあたり、改善の視点の一つとして設定しているものです。 平成26年度までに策定を予定している公共施設再編計画の策定作業の中で、個々の施設についてどの程度長寿命化が可能かを検討していきたいと考えています。
34	31		長寿命化に関し、工学的な説明があるか。	16ページより	長寿命化に関し、工学的な説明がありますか？基本は個々の施設につき建築評価し、その累積で長寿命化が可能か否かが議論されるべきであると考えれば、理解できない項目で、そのため、初めから21ページまでが信頼性が乏しい感じを受けた。	
35	2	現状、 試算 等	高齢化していくことを踏まえるとトータルコストを削減していくという論理がわからない。	P.19 5.(1)	「今後の財政推計や、人口減少と少子高齢化を踏まえ、市が保有する施設にかかるトータルコストを約50%削減する。」とあるが、「少子化」は別として、「高齢化」を踏まえると削減するというロジックが良く判らない。	●少子高齢化が進むことにより、必要となる行政サービスのニーズも変化していくと考えています。 この点を踏まえて、利用頻度の低くなった施設のあり方を見直すなどして、トータルコストを削減できるものと考えています。

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
36	4	現状、 試算 等	トータルコストを約50%削減する例の中で、PPP等の活用が掲げてあり、これは良いことだが、「削減」という消極的な雰囲気が強調されがちであるため、例えば太陽光発電による売電を実施するなど、「収入を得る」という積極的な側面も打ち出すべきではないだろうか。	P.19	(1)第3項目に於いて「トータルコストを約50%削減する」ことの例の中に、「PPP等の活用」が挙げられていることは結構なことですが、ややもすると「削減」という消極的な雰囲気が強調されがちであり、併せて「収入」を得ると言う積極的な側面も打ち出されるべきではなかろうか、例えば「市施設の屋根を民間に貸し出し太陽光パネルを設置して発電した電気を電力会社に売電する」ことは既に神奈川県でも実施して居り、又県内の他市でも方針を決定している例が出てきていることでもあり、意識高揚と言う観点からも考慮されて然るべきではないかと考えます。	●施設を利用した広告などによる収入事業などは、庁内で別途実施もしくは検討しています。 「公共施設を資産ととらえ、活用にあたり効率性を追求する」とした「マネジメントの大方針」に沿って、収入を得ていくという取組も庁内横断的に実施したいと考えています。
37	19	現状、 試算 等	将来の施設更新はその時の財産で切り抜けるのであって、市民の財産を売ってしまったら、必要なとき鎌倉の土地や施設は購入できず、知恵のある施策とは思えない。	改善の視点 Ⅱ (P16)	20年後は鎌倉の人口が減少するとして市民の保有面積が多すぎるので売却すれば39.3億円の経費削減ができるということですが、はたしてマンション林立の中で人口が減少するのでしょうか。売却で「さらに将来の公共施設更新投資に充当」は、将来の施設更新はその時の財産で切り抜けるのであって市民の財産を売ってしまったら必要なとき鎌倉の土地や施設は購入できず、知恵のある施策とはおもえません。	●現在、市が保有する公共施設を全て維持することができれば望ましいところですが、試算により施設に投資する更新費用を現在の2.8倍確保しなければ施設が維持できないことが明らかになりました。 この問題を解決するために、本基本方針では、様々な取組を掲げているものです。
38	19		40年後までを今の税収を基準にし、市民サービスを削減して、トータルコストを50%削減する公共施設マネジメントは、快適な市民生活の提供を放棄する市政になると思う。	☆削減目標 のまとめ (p18)	40年後までを今の税収を基準にし、市民サービスが削減で、トータルコストを50%削減する公共施設マネジメントは市民への目線がない。「次の世代に過大な負担を残さない公共施設の在り方を考え」は詭弁であり、「次世代に何も残さず、必要なら自分たちで何とか将来人口が減少し、将来人口が減少し、しろ」という市民の財産を売り飛ばし快適な市民生活を放棄する市政になると思います。	この取組は市民の皆さんの快適な生活に過大な負担を強いるものではなく、発想転換により、良質かつ必要な公共サービスの提供を目指していくものであることをご理解願います。
39	19		人口減少と少子高齢化の前提で40年先まで試算し、公共施設を手放してトータルコストを50%削減するのは知恵が無く、市民の方を向いていないとしか考えられない。	☆5つの取り 組み方針 (p19)	「トータルコスト50%削減」は無責任です。公共施設が人口の割に多すぎ、将来人口が減少するなかで維持管理が大変という現状分析でしたが、実際は大船・玉縄方面にマンションが次々建つなど40年先まで見越して人口減少するかどうか、人口減少と少子高齢化で40年先まで試算し市民が保有する財産の公共施設を手放してコスト50%削減なんて知恵がないのか、市民の方を向いていないのかしか考えられない。(繰り返すのは提案が繰り返しの)	
40	27		財政状況ありきの脅しには反対である。		まず「財政問題ありき」の脅しには反対です。 →全文は整理No.12参照	
41	19	市民 力、民 間活 力等	自治体と市民団体は目的が違い、市民団体は行政の下請け機関ではない。施設運営を市民力で行うのは無責任である。	☆市民が誇 れる施設の あり方 (p14)	「市民活動団体と自治体が協働で事業を行う」「市民力を生かした施設運営」に違和感を覚えます。自治体と市民団体は目的が違い、市民団体は行政の下請け機関ではない。施設運営を市民力でやるのは無責任です。	●市民との協働に関しましては、本市では、これまで様々な分野で市民と行政との連携が実践されてきたところです。 このような背景や経験の蓄積を踏まえたまちづくりの実績を「市民力」として捉え、今後の公共施設のあり方の検討をはじめ、具体的な施設の運営なども視野に入れ、市民の皆さまと目標を共有し、課題解決をともに図っていきたいと考えています。
42	19		市民の活動は自主的なものであり、市民と民間事業者とは利害がからむ。民間活力の活用は、責任をもって市民サービスがされなくなるもので、行政の責任放棄である。	☆5つの取り 組み方針 (p19)	市民の活動は自主的なものです。市民・民間事業者との協働は利害がからみ、責任をもって市民サービスができなくなり、行政の責任放棄です。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
43	21	市民力、民間活力等	行政サービスとは何なのか、大幅な発想の転換が必要であり、より大胆な計画が求められているのではないかと。 市と住民が一体となって、取組まなければ問題解決ができないと危惧している。	(記載なし)	行政サービスとは何なのか？ 時代とともに考え方は変わってきており、この辺の大幅な発想の転換が必要。従来の行政サービスを望むべくもなく、又徐々に望まない風潮が住民間で強まってきている中、より大胆な計画が求められるのでは？コスト削減は当然で、併せて少しでも再編の為に財源を増やす努力を考えるべきで、具体的には、学校以外は原則的に受益者負担の考えを導入すべきと考えます。 生涯学習C等は思い切ってできるだけ民間委託すべきで、受益者負担の原則をとるなら、例えば資金を潤沢に持っている各地の自治・町内会に率先して市の公共施設改修の為にその資金の一部を負担して貰っても良いのでは？市と住民が一体となって話し合い、この問題に取り組まねば問題解決は基本的にはできないのではないかと危惧します。	●民間事業者との協働に関しましては、本市では、これまでPFI事業などの民間活力を用いた事業を実施しているところですが、これらの実績を踏まえつつ、各施設の現在の運営面での工夫なども考慮した上で、市民のニーズに応じた、より質の高い行政サービスを提供するため、民間事業者の資金やノウハウの活用を検討していくものであることをご理解願います。
44	22		何でも民営化するのは、サービスが減るのでやめてほしい。	(記載なし)	なんでも民営化するのは、サービスが減るのでやめて下さい。 (保育園・図書館…、他全般)	
45	26		協働のパートナー(指定管理者等)の選定に当たっては、選定基準、公募方法等を透明性を高くし、利権や癒着の構造の排除に努める旨を明記すべきである。	「鎌倉市公共施設再編計画のまとめ」のページ(A3)	■公共施設マネジメントの3原則のひとつ、「行政サービス提供のあり方の大幅な見直し」では、「公設、公営の発想転換」として「市民・民間事業者との協働」を掲げている。協働のパートナー(指定管理者等)の選定に当たっては、選定基準、公募方法等をガラス張りにして、利権や癒着の構造の排除に努める旨を明記すべきである。	
46	28		人件費を削減し、サービス低下を招かないためには市民活動団体を活用することが一番効果的であるが、役所のひも付きにしないことが重要である。 鎌倉市は市民活動団体に対する認識が他の自治体に対して低いことが心配である。	13.現況と削減、16.改善の視点、19.アクションプラン、20～まとめ、24.ロードマップ、30.モデルパターン、35.施設配置	4.人件費の比率が25%くらいであり、これを削減し、サービス低下を招かないようにするには市民活動団体を活用することが一番効果的であると思うが、役所の紐付きにしないことが重要である。 6.鎌倉市の行政は市民活動団体に対する認識が他の自治体に比し低いことが心配である。 →全文は整理No.2参照	
47	32		公務員に給料を払うよりも、有効に民間を活用すべきだと思う。	全体	③民営化された保育園に子供を預けていますが、公立園と同等か分かりませんが、十分な保育を受けています。公務員に給料を払うよりも、有効に民間を活用すべきだと思います。(保育園を民営化しているように、窓口の民営化(ルミネで十分、秦野の郵便局利用参考)、図書館の民営化、郵政民営化など、他の取組を知っていますか。他で出来て鎌倉でできないわけがないです)。	
48	33		公共施設はその場に残しつつ、他の部分で財政負担を減らす方法を考えてほしいと願う。	(記載なし)	財政的に難しいのはわかりますが、身近な公共施設が無くなったり、形を変えたりすることは非常に残念でなりません。流れとして、民間委託という話も聞きますが、本来、公共のものであるべきものには強い抵抗を感じます。公共施設は、その場に残しつつ他の部分で財政負担を減らす方法を考えてほしいと願います。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
49	47	市民力、民間活力等	真の意味の市民・民間事業者との協働がなされておらず、余剰資産を朽ち果てさせているのは市である。	P.19	コスト論のみ。PHP研究所に作らせた3000万円を有効に使え。地元産業を使え。 真の意味の(3)はなされていない。余剰資産を朽ち果てさせているのは市である。	(前ページからの続き)
50	47		市民、民間業者との協働はされていない。	P.20	机上計算が多すぎる。市民の専門家の能力を使っていない。市民、民間業者との協働はされていない。ことばが宙に浮いている。	
51	47		モデルパターンは、民間活力ありきであり、残念である。	P.1～全体に流れるもの	施設の維持改修課題は、1950年代から半世紀の間、市当局は事業計画にメンテナンス思想がなかったことに、一言の反省、おわびもない。自分の家(一戸建もマンションも積み立てている)モデルパターンの基本手法について、「民間活力ありき」はおそまつ極まりない。民間に丸なげできない「公」の責任の思想がない。 他市域の民活のつまみぐい。統廃合ありきでなく、鎌倉の文化を守る気持ちが全くない。藤沢は市長が変わったら、どんどん元に戻している。鎌倉の基本構想のない貧弱。 学校空教室は、鎌倉のように小規模学校を食い荒らしてはならない。寄贈、家屋、土地をボランティアにまかせよ。朽ち果てさせないで地域、文化センターに。	
52	18		再編計画の策定において、鎌倉市が市民の理解と協力を必須とするなら、市民間のコミュニケーションを支援し、市民また有識者が建設的な意見をいえる開かれた場や仕組み、自由かつ達に話合える出来れば常設の場を、なるべく早くかつ多く用意することが必要であろう。	(記載なし)	⑤市民力の活用を！ 掲題の「基本方針」の24・25頁には、市民のニーズに的確に応えるための施設運営には、地域住民・NPOなどの民間活力の活用が必要だとうたっている。全く同感であるが、そもそもNPOなど市民の公益活動の推進という面での鎌倉市の支援については、物足らぬ点がある。 今、私は藤沢市民と一緒に市民活動に携わっているのだから、市民活動についてまわる大量の印刷作業に適した場所、メンバーが安直に集い、意見交換し、また、他のNPOメンバーとも相互交流し、さらに、関連の情報収集も容易な居場所が、藤沢市では市民活動のために用意されている。鎌倉市にもNPOセンターと銘うった場所が2か所あるにはあるのだが、場所が狭いこともあり、とても藤沢市のセンター並みの機能が果たせるとはおもえない。鎌倉市が真に市民力の活用を考えるのであれば、この点は藤沢市に見習った方がよい。 私はこの頃時間にゆとりが出てきたことをいいことに、多くの委員会に傍聴人として参加している。そこで気付いたことだが、どうもお題目とは裏腹に、鎌倉市には、直接の利害関係に彩られていない一般市民の意見は余り尊重しない風土があるようだ。まず委員会における市民を対象にした公募による傍聴人はどの委員会も僅か5人に限定されており、発言権のある委員のうち公募による市民の数はせいぜい2人あるかないかである。委員会によっては、土地の権利者、自治会代表などが加わっているが、会議をおもに主導するのは、有識者としての外部の専門家であることが多い。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
					(前ページからの続き) 外部の専門家の知見は勿論尊重しなければならぬが、鎌倉市の場合は、地元の専門家・有識者も多数いるわけであり、もう少し市民目線の地域事情を踏まえた建設的な議論があってもよいようにおもう。 一番問題なのはいわゆる「パブコメ」における市民意見の扱いである。 「パブコメ」は条例にもとづく市民意見についての正式の公募であるが、市民の数々のもっともな問題提起も「貴重なご意見として伺っております」の形での一言による処理対応で、後になっても納得のいく回答が返されないことが多い。もともと反芻し検討し直す時間などが予定しておらず、委員会が終了すればすぐ「パブコメ」、その締め切りから余り時間をおかずに議会報告の形で日程が組まれているケースが多いが、この場合鎌倉市の「パブコメ」は単なる手続き、形だけの意見収集と考えざるを得ない。 最近のNHKの報道によれば、他の自治体(例 多摩プラザ、青葉区など)のなかには「暮らし易い街についての議論」を「おしゃべりサロン」、「コミュニティー・カフェ」などの形で行政が場を提供し、住民同士が知恵を交換する場とし、また、行政に協力し地域の事実上の担い手として汗をかく人材の掘り出しにも役立てている由である。 再編計画において、鎌倉市が市民の理解と協力を必須とするなら、市民間のコミュニケーションを支援し、鎌倉を愛する熱意ある市民また有識者が建設的な意見をいえる開かれた場とか仕組み、自由かつ達に話合える出来れば常設の場を、なるべく早くかつ多く用意することであろう。議員も、行政側からも、かみしもを脱いだ形での参加を願い、盛り上げてほしい。その場を設定するに当たり、学校の施設または図書館を一部開放し、交流の拠点にした自治体もあると聞く。 今後増加が予測される民間の空き家も場として活用できるかもしれない。 28頁の「民間活力による効率化」のなかで事例として図書館の窓口業務のツタヤへの業務委託の件があげられているが、民間の諸々の知恵を求めることは望ましいにしても、市民に対するサービスの中核としての図書館業務の見直し(注3)が模索されている昨今、かかる民間への丸投げは根本的な(注3)例としては、島根県県立図書館があげられる。→ただ読む図書館から資料・情報検索センター/コミュニティーの中核拠点へ→ →全文は整理No.15参照	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
53	17	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	学校への複合化等は、やめてほしい。 図書館での利潤追求はふさわしくなく、業務委託・民営化はやめてほしい。	28	学校に他の施設を複合・集約するのは、不特定多数の人が出入りするのを止めて欲しいです。 図書館の業務委託・民営化はやめて欲しい。利潤追求はふさわしくありません。	●取組方針に掲げています「学校施設の複合化」の検討は、ご意見にありますとおり、子どもたちへの安全の配慮や、学校は本来教育のために供するものであるということが大切な前提であると認識しています。 今回は、この点を皆さまにお伝えすることができなかったことを踏まえ、「学校機能を損なわないための工夫や配慮を行う」という視点を、基本方針に盛り込むよう修正しました。 なお、文部科学省の「学校施設老朽化対策ビジョン（仮称）（中間とりまとめ）」（平成24年8月30日）では、学校施設をはじめとする公共施設の老朽化問題を捉え、「公民館等の他の社会教育施設や福祉施設との複合化による整備を推進することも重要な課題である。」との方向性が示されているところです。 以上のことを踏まえた、学校施設への複合化の検討や、今後生じる可能性がある余裕教室の活用など、学校に関わる施策については、今後の再編計画の策定の過程において、関係機関との更なる調整を図るとともに、地域の方々のご意見を踏まえて検討していきたいと考えています。
54	19		学校への複合化等は、事件などの不安がある。	☆5つの取り組み方針 (p19)	学校の複合化は外部の人が自由に入ることになり事件などの不安がある	
55	19		学校施設がたくさんあることは今までの市政の蓄積された成果であり、早急な再編は逆に、次世代の子ども達のためではないと考える。	☆施設の現状と課題 (p3)	「学校施設の延べ床面積が44%」は今までの市政の蓄積された成果です。「次世代に過大な負担を残さない」ためにも早急な再編は次世代の子どもたちのためではないと考えます。「築30年以上の建物66%のうち耐震補強未実施38%、30年以上の耐震補強未実施は全体の24%の現状」をふまえても、耐震補強のために公共施設の売却などしないで財政におうじて順番にやればいいのです。避難所は耐震補強がすぐ必要ですが古くても大船行政センターの補強など最後でいい、民間の建物と比べはるかに強固です。	
56	31		学校への複合化は、建替え時には効果が上がるとしても、既存の学校への複合化は、児童等の安全性から反対である。	32ページより	学校の複合化がどういう意味か？ 28ページの事例では秦野市のように学校立て替え時とあったように、効果が上がるとしても（新設計の場合にはたしかに可能性がありますが）、廃校でない限り教室と併設では児童の安全等に問題はおおきく、反対です。	
57	34		学校への複合化について、教育の独立性の観点と、子どもたちの安全面への配慮のの観点は何よりも大切にしてほしいと思う。	P19、P30～33	公共施設の約40%占める学校施設を拠点とし、学校の複合化を検討とかかれ、⑤つのモデルパターンが示されていますが、教育の独立性の観点と、子どもたちの安全面への配慮の観点は何よりも大切にしてほしいと思います。	
58	40		施設の複合化等について、保育園、学校、図書館などは、市の財政事情がどうであれ、第一に支出すべきお金であり、減らすべきではない。	P.28など	施設の複合化・集約化について 鎌倉は、今でも市民活動している諸団体は、会議室、集会場が足りなくて困っています。市民の知恵を借りながら、増やす努力こそ必要です。 また、学校施設の利用については、防犯上も慎重な対応が必要だと思います。 保育園、学校、図書館などは、市の財政事情がどうであれ、第一に支出すべきお金であり、へらすべきではありません。	
59	44		学校への複合化については、むしろ教室を増やすべき方向にあり、現実を見ていないと思う。	19Pの(2)	特に公共施設の40%を占める学校施設を拠点とし、学校の複合化を検討する、について、現実には大船小、小坂小、山崎小区はマンションの建設などで空き教室がありません。むしろ増やすべき方向にあるのに、鎌倉市は現実を見ていないと思います。	
60	44		学校余裕教室の多目的利用については、放課後キッズクラブや学童保育等は良いと思うが、公民館や行政センターなどの機能は子どもの安全性から、合併すべきではない。	28Pの学校余裕教室の多目的利用について	学校余裕教室の多目的利用については、放課後キッズクラブや学童保育等が良いと思いますが、公民館や行政センターなどの機能は合併すべきではありません。学校に関係者以外の者の出入りは、子供の命を危険にさらすおそれがあります。効率化よりも命を優先すべきです！公民館や行政センターの機能は鎌倉市に寄贈された家屋等があるので、それらを利用すべきであって、決して学校に集合化、共用化すべきではありません。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
61	50	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	学校余裕教室の保育園への活用 など問題が多すぎる現況の事例を出 すのはやめてほしい。	28ページ	学校余裕教室は、学校の子どもたちが学級を越え、異年齢の縦割りの活動 の際など必要なスペースであり、ムダという考え方はおかしい。会議室も、 学校毎に、保護者が学校を支えるために活動する様々な場面で利用されて おり、ムダにはなっていない。 そもそも、学校内に入れ替わり立ち替わり、多数の地域の人々が出入りする のは、学校の安全上問題が多すぎる。 余裕教室に民間保育園設置という、横浜市の事例が書かれてあるが、「保 育」をどう考えているのか。あまりにも乳幼児の命を軽く考えすぎではない か。横浜の事例だけでもってくるのではなく、どのような悪い環境に乳幼児が おしやられているのか、実態をよく見て、検証すべきこと。待機児童の数が数 字の上で減っても何も良いことはない。問題が多すぎる現況の事例を出す のはやめてほしい！！	(前ページからの続き)
62	2		モデルパターンの学校、子ども会 館・子どもの家について、学校への 複合化等において、子どものスペ ースと老人のスペースを一体化する ことは反対であり、それぞれ別な組合 せで複合化等が可能ではないか。	P.32, 33	モデルパターン④ 学校施設、⑤子供会館・子供の家 学校の余裕教室を活用して老人施設を複合化すると書かれているが、子供 の城と老人の城を一体化させることは反対である。 学校は、子供の関連施設として一体化し、成人・老人の施設は、行政セン ターと一体化させることがベストと考える。 子供の家や子供会館は、各小学校に付帯させるべきである。また、青少年 会館は、高等学校に付帯させることも検討すべきである。 各行政センターの行政サービス スペースは過大であるように思う。業務や 人員配置等を見直しつつ、行政センター施設の再構築により、老人福祉セン ターの収容も可能ではないか。	
63	12	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	近くの行政センター等がなくなる事 については、反対である。 学校への複合化は、子ども達が落 ち着いて勉強できないと思うので反 対である。	(記載なし)	近くの行政センター等がなくなる事は反対です。 学校にいろいろな施設を作る件ですが、子供達が落ち着いて勉強出来な いと思うので反対です。	●本基本方針では、「支所」や「生涯学習セン ター」につきましては、モデルパターンの基本手法 や、モデルパターンの例示ということで記載をして おります。 具体的には、民間事業者への委託、集約化・共 用化などを例示させていただいていますが、これ らは、他市の実施事例であり、今後、公共施設再 編を皆さまと協議していく際の検討素材の一つで あることを、ご理解いただきたいと考えておりま す。 公共施設再編の検討にあたっては、施設設置 の背景や、現在、利用されている皆さんにとって 大切な「場」であることを認識しています。 そうした中で、公共施設再編の課題を全市的に 捉え、利用実態の詳細や、施設の必要性等を改 めて検討する必要があるものと考えています。 その際には、施設と機能の分離や、公設公営の 発想転換など、行政サービスのあり方の見直しの 視点をうけ、良質な公共サービスの提供を図って いきたいと考えています。 今後、再編計画の策定の過程において、関係 者との更なる調整を図るとともに、市民の皆さま からのご意見などを踏まえて、検討していきたい と考えています。
64	15		行政センター（生涯学習センター、 図書館）は歩いて行ける身近な場所 に置いてほしい。	(記載なし)	行政センター、生涯学習センター、図書館は歩いて行ける身近な場所に置 いてほしい。	
65	19		行政センターは現在の地域ごとに 必要であり、維持・発展させてほし い。	☆5つの取り 組み方針 (p19)	行政センターは現在地域ごとにある5つは必要です。5地域の行政センター は維持・発展させてください。 市民が活用し鎌倉の文化に貢献してる施設を大いに活用し充実すべきで す。	
66	19		鎌倉市には様々な手続きができる 行政センターが必要であり、交通費 をかけて市役所に行くことは高齢者 にとって負担である。	☆5つの取り 組み方針 (p19)	図書館があり、会議室があり、行政の手続きができる身近な大船行政セン ターを充実させてほしい。お風呂券発行、住民票など先日手続き行ったと ころ10人くらい来ていました。平塚と違いJR3駅と江ノ電が通っている鎌倉市に は各地に行政センターが必要です。鎌倉まで交通費をかけて行くことは高齢 者にとって負担です。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
67	48	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	公共施設のあり方について、検討する事については異論はないが、大船行政センターが無くなると困る。	(記載なし)	公共施設のあり方について、検討する事については異論ありません。(民間と違ってずいぶんゆったりと仕事をされていると感ずることは度々ありますので) 大船図書館が無くなる事には反対します。今でも閲覧室の狭さなど感じていますが、近くにあって大変便利です。 行政センターも、事柄によっては本庁舎まで行かねばならず、多くの業務を支所で取扱って欲しいと思っておりましてのに、無くするとは大変困ります。 私も、高齢者の仲間入りで膝などが悪くなり、遠くまで歩けなくなりましたが、近くに公共施設がある事により、歩いて出かける事が出来ます。これが無くなると、出かける意欲は失せ、家に閉じ込めり、生活不活発病から痴呆症になるかもしれず、かえって、市の財政に良くない事になると思います。小学校、体育館等、近くにある施設等に移しても良いのではと思いますが。合同庁舎+学校に。	(前ページからの続き) なお、基本方針においては、モデルパターンがモデル事業と誤解を招かないよう、モデルパターンの名称を「再編パターン」と変更しました。
68	5		高齢化社会を迎え、サークル学習活動が生きがいとなるため、公共施設については、国、地方自治体がもっと責任をもって公的運営で行うべきである。	12～13	公共施設は市民にとって宝であり、憩いの場、文化の場である。高齢化社会を迎えるにおいて、サークル学習活動が生きがいとなり、公共施設を利用する方も増えてくる。国に働きかけて建替の補助金が出るようにし、公的運営で行うべきである。日本は、先進資本主義国においても、公的施設、生涯学習の普及、充実が遅れている。国、地方自治体がもっと責任をもって行うべきである。	
69	2	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	モデルパターンの図書館について、市民図書館機能と学校図書館は相容れないものであり、同列に扱い、共用化等を論じることが間違いだと思う。	P.31	モデルパターン② 図書館 市民図書館機能を学校図書館と同列に扱って、共用化や複合化を論じているが間違いだと思う。 そもそも学校図書館は、学習授業の補助としての機能であり、揃える図書も限定されたものであるべきであり、その運営も教育の一貫であるべきである。基本的に成人を主対象者とする市民図書館との共用・複合化は、相容れないものである。 鎌倉市の図書館は、本館を除き市民センターと一体になっており、施設効率的に問題ないと考える。	●本基本方針では、「図書館」につきましては、モデルパターンの基本手法や、モデルパターンの例示ということで記載をしております。 具体的には、民間事業者への委託、学校図書室を含めたネットワーク化などを例示させていただいていますが、これらは、他市の実施事例等であり、今後、公共施設再編を皆さまと協議していく際の検討素材の一つであることを、ご理解いただきたいと考えております。
70	3		世界遺産登録を目指す市として、市立図書館の機能を再検討し、再定義することが時代の要請であると考えている。	P.28	世界遺産登録を目指す市として、地域資料の整備と公開が必須です。行政・教育・地域振興の情報取得・発信窓口として、市立図書館の機能を再検討し、高度情報化社会に相応しい機能と手段を備えた施設として、再定義することが時代の要請であると考えています。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
71	11	モデル パターン、個 別課題、用 途課題等	図書館と体育館の改善案について 考えをまとめました。	(記載なし)	公共施設再編に関するシンポジウムを聞き、基本方針の案について考えを まとめました。 【図書館の改善案】 ・電子書籍を増やして、維持費にお金がかかる本を減らし子供達のためにグ ループ学習室を作る。(例. 日進市立図書館http://lib.city.nisshin.lg.jp/) ・本の維持費を抑えるため例えば旅行の本で似たようなもの(05'07'など年代 の別なもの)や古い本は無料で(大量にもらっていく人もいるかもしれないの で一人2冊と決める)あげる。 ・電子書籍は電子書籍ならではの魅力のある若者向けの本(絵本や村上龍 さんの歌うクジラのような本)を増やす。 端末はメーカーに宣伝として無料で提供してもらい、本も宣伝として一部出 版社に提供してもらう。 【体育館の改善案】 ・体育館はほぼ予約しないと利用できないのでドタキャンになってつかわな くなった場合安い料金で 個人利用できるように開放する。(ドタキャンになっ たらtwitterやFacebookで情報をアップする。)	(前ページからの続き)
72	19		図書館は独立してあるべきであり、 学校図書館とは機能が違うので合流 できない。	☆5つの取り 組み方針 (p19)	図書館は独立してあるべきだし、学校の図書館とは機能が違うので合流で きない。文化都市とは言えない。 会議室や図書館をなくし機能の違う学校図書室と合流など考えられません。	
73	24		図書館を民間委託する計画など全 く利用者にとって迷惑千万である。	28	とにかくあわただしい話で、ゆっくり検討する時間がない。よってこの頁につ いてのみ考察する。このような大切な案件はじっくり時間をかけて市民と行 政が検討する必要がある。 図書館の運営を民間委託するプランなど全く利用者にとって迷惑千万であ る。信頼できる司書さんが居られて、よい助言いただく事が学習の進歩に大 きな影響がある。民間に委託してその業者が派遣を使うことにでもなったら、 一半田先生の居られぬ中央図書館を想像できるだろうか。 各種の仕事を外部委託にするメリットは人件費の軽減、しかし外注費はその 分増加し、その費用から企業のもうけを取らなければならぬ。市民は練達し た職員が常駐することを希む。 P.S.市の職員が多くて遊んでいると云う者があるが、それ位のゆとりなく して、非常時の対応はできぬ。市の職員が育児休暇を取れ生活の不安をなく 仕事できなくて市民は安心できぬし、民間の労働条件の手本とするべきであ る。	
74	26		逗子市の逗子文化プラザ(図書館・ ホール・生涯学習・温水プール等の 複合施設)と小学校は同じ敷地内に 集約されている利便性の高い事例と して参考となる中で、図書館は、公文 書館としての機能を備えることを望 む。	「鎌倉市公 共施設再編 計画のまと め」のページ (A3)	■公共施設マネジメントの3原則のひとつ、「行政サービス提供のあり方の 大幅な見直し」で、「施設と機能の分離」をうたい、施設の複合化、多機能化 による有効活用をあげていることは理解できる。隣の逗子市で、市立図書館 と市民文化プラザが市立逗子小学校と同じ敷地に集約されているのは利便 性が高い事例として参考になる。鎌倉市が行なった公共施設についてのア ンケートで、図書館の満足度が低いという回答が多くを占めたのは蔵書の不 十分さ、閲覧スペースの狭さ、開館時間の短さ等の実情からして当然の結果 である。今後、図書館施設の複合化、多機能化については、市民から多 様な要望が寄せられると思われる。そのひとつとして、公文書館としての機 能を備えることを望む。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
75	30	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	予算がないことは分かるが、図書館の民間委託には不安があるため、予算削減に努力し、このまま鎌倉市の管理で存続してほしい。	(記載なし)	予算が、ないというのは、わかりました。 大船図書館を家族4人よく利用しています。民間委託は、個人情報の管理、採算がとれないと撤退などと不安があります。もっと古い本も修理して、使うなど、予算削減に努力して、このままの市の管理で、存続して欲しいです。 全体的にもっとよく見直すと予算削減できるのでは？	(前ページからの続き)
76	31		図書館をツタヤに委託するには、個人情報の漏えいする心配があり反対である。	28ページより	表中「運営の見直し」の事例に、図書館をツタヤに委託とありますが、個人情報の漏えいする心配がありますので、反対です。 また、施設について余裕教室や学校立替の事例がありますが、後続のページで意見を書きます。	
77	31		図書館は、効率化のみを求めるのではなく、使いやすく、コミュニケーションの場であってほしい。	31ページ上段	図書館であります、効率化が説明されています。ネットワーク化はすでに進行中であろうとおもいます。「地域対応施設」という言葉は、市民(学童の場合)には効率化のみ求めるのみでなく、使いやすくコミュニケイトのばであってほしい、「図書館のあり方」をオオ性の市民らの立場で解析してほしい。	
78	35		鎌倉地域にある中央図書館と同等ではないが、大船地域のための図書館をなくさないでほしい。	(記載なし)	昭和23年鎌倉市が大船と合併した時、大船町民は市内と同等にすると信じていましたが、大船工場群の税をあてにして市内中心部の道路整備のうわさもチラホラ聞こえました。 今、鎌倉本館図書館の同等でない大船の図書館を無くすなど文化都市の名が泣きます。	
79	37		図書館が学校内になったりすると、足が遠のくように思うので、今のままを希望する。	(記載なし)	図書館は精神的・肉体的慰安の場です。一人静かに本を手にとりたい、読みたいという利用者は、私だけでなく多いと思います。むろん子供連れ、仲間と、という利用の仕方もあります。 図書館が学校内になったりすると、一人でゆっくり楽しみたいという人には、どうも足が遠のくように思えます。 財政が大変とかあるかもしれませんが、それほどコストカットになるとも思えません。なにぶん市民の精神的生活の豊かさに関することです。 今のままを希望します。玉縄図書館と、腰越図書館ではムードが違い、それも楽しみです。	
80	38		今までの民間委託で、市の費用は削減されたのか疑問であり、図書館をツタヤに任せるなど、絶対にあってはならないことだと思う。	(記載なし)	公共施設の維持管理には、これから多くの費用がかかるので、それを削減するために再編を考えられていますが、今まで、民間委託をして、市の費用がかからなくなったのでしょうか。(例えば芸術館、温水プール、保育園の給食) 市民の負担が減ったのか疑問です。維持管理をしていこうとすれば、他からまわせるお金があると思います。村岡新駅を800億も鎌倉市が負担すること、世界遺産にするのにかかる費用。市民にとって福祉、子育て、文化的な施設(図書館、支所)は大切にしてほしいものです。 不要不急な財政支出は押さえて、市の施設を現状維持、改善して残すべきだと思います。 図書館を「つたや」にまかすなど、私は絶対にあってはならないことだと思います。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
81	40	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	保育園の民営化については、財政的に良くなるだけの問題であり、図書館の民営化については、民営化すべきではなく、民営化するとしても非営利の法人とすべきではない。	P.28	保育園の民営化について 民営化して財政的によくなるということは、民間の方が保育士の給料が安かったり、人数の配置の問題では、と思います。 小さな子どもを健全に育てるために、必要な人員に十分な給料を払うことがとても大切です。 同様に図書館についても、ここは貴重な資料も保管しているはずで、市民の歴史は財産です。民営化すべきではありません。万が一、民間委託するとしても、営利会社(ツタヤ)でなく、非営利の法人とすべきです。	(前ページからの続き)
82	44		効率化ばかりを優先して、図書館の民間委託することは、人の心を育てる機会を子どもたちやボランティアの方たちから奪うことになるおそれがあるので、やめてほしい。	P.28(図書館の一部業務委託、施設運営の外部化について)	大船図書館で、毎月「おひざにだっこのおはなし会」と大船中学校生徒による「おはなし会」の2種類があります。(市役所が今まで浪費を続けたせいで)図書館司書の方、中学校の生徒、おはなし会を楽しみにしてる親子、携わっているボランティアの方達の生きがいを民営化となれば、会社の採算にあわなくなれば、おはなし会は切りすてになってしまうと思います。大人の都合でこのような事が強行された場合、子供達は鎌倉市に対してどう思い、行動するでしょうか?効率化ばかりを優先して、人の心を育てる機会を子供達やボランティアの方達からうばわないでほしいと思います。	
83	44		市立図書館を佐賀県武雄市のように民間に業務委託することに反対である。	P.28(図書館の運営見直し及び民間への業務委託について)	市立図書館を佐賀県武雄市のように民間に業務委託することに反対です。理由は、 ①図書館司書として働く人々には、利用者の個人情報に対する守秘義務など、モラルが徹底されているが、民間でアルバイトやパートで働いている人々が徹底できるのかどうか、危うさを感じます。 ②司書の方達には知識もあり、鎌倉市民の親子の楽しみのひとつである「お話し会」等で、歌あそび、絵本の読み聞かせ、といった事を通して、私達市民の健康で文化的な生活に貢献してくださっています。民間では営業やもうけにならない様なお話し会などのイベントは、カットされてしまうと思います。子供達の楽しみをうばわないでください。	
84	46		図書館の民間委託には断固反対である。	(記載なし)	私は鎌倉版事業仕分けで市民評価人を昨年つとめた。対象事業に図書館運営業務と生涯学習センター運営業務が入っていた。評価人として「窓口サービスの民営化には反対。鎌倉の歴史文献の収集、目録作成業務で図書館に国宝館の実施する研究業務を上手に集約化し、より拡充させる」との意見を記載した。事業仕分けで図書館に関しては将来の運営の方向を示したものと考えていたが、今回、公共施設再編計画基本方針(案)が出され、そうではなかったことが判明した。案の28ページにモデルパターンの基本方針手法が表で掲載されているが、図書館については、ツタヤと委託契約を結んだ佐賀県武雄市の例が載っており、正直驚いたのが実情である。企業名まで載せてモデルパターンを示していることは、鎌倉市が民間委託を本気で検討している証拠と見れなくもない。私は、図書館の民間委託には断固反対である。運営経費を切りつめるために民間に委託すれば、本来の鎌倉の文献収集・研究業務は当然採算が合わず、継続できなくなる可能性が高い。図書館だけでなく、今回市は、支所、生涯学習センターと分館などについても、施設の耐震構造の不備を理由に、廃止、統合を打ち出しているように思われる。これは、確実に行政サービスの低下につながる。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
85	49	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	図書館のモデルパターンの基本手法について、文化都市鎌倉というのなら、それにふさわしいモデルがあるだろうと思う。	P28	モデルのうち、武雄市はツタヤが図書館を委託されたとの事。これがモデルとは情けない。文化都市鎌倉というのなら、それにふさわしいモデルがあるだろうと思う。	(前ページからの続き)
86	51		公共施設の統廃合、複合化を目指すという方針は理解でき、既存の施設全てをそのまま残す必要はないと考えるが、そのことと図書館運営の民間委託とは別問題であり、図書館を活かし、文化都市鎌倉に相応しい行政改革に取り組んでほしいと思う。	(記載なし)	公共施設の統廃合、複合化を目指すという方針は理解できます。既存の施設全てをそのまま残す必要はないと考えます。しかし、そのことと図書館運営の民間委託とは別問題です。公共図書館の役割は、全ての市民の知る権利、学ぶ自由を保障することです。年齢、性別、職業を問わず誰もが等しく利用するためには無料の原則を保たねばならず、これは義務教育と同じ意味合いを持つものです。責任を持つべき自治体が民間委託を提案すること自体、自らの責任をないがしろにするものと思えます。また、利潤をあげることのできない図書館業務を民間業者が受託することによどのようなメリットがあるのかわからず、安価な労働力に頼る以外、どのような打開策があるのか、他の自治体の例を見ても思い当たりません。図書館は課題解決の場です。このような情勢だからこそ、図書館を活かし、文化都市鎌倉に相応しい行政改革に取り組んでいただきたいと思います。よろしくお願いします。	
87	6	モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等	市の施設は多種多様であるので、この5つのアクションプランのどれをどの施設に適應するかが問題である。	P.30、31	2月2日のシンポジウムに出席し、頭書方針についての資料を拝読いたしました。施設の老朽化と人口減少、市の厳しい財政状況を踏まえると、基本方針案に示されたような5つのアクションプランが必要であることは充分理解できます。しかし市の施設は多種多様に亘るので、この5つのアクションプランのどれをどの施設に適應するかが問題であります。そのモデルパターンが基本方針案のp30以降に示されていますが、p31の『モデルパターン③ スポーツ機能 企業のスポーツ施設などの活用など保有形態の見直し 類似機能の共有化』を見ますと、具体名は示されていませんが総合的に判断すると坂ノ下の鎌倉海浜公園水泳プール(以下 鎌プー)を廃止し、民間スポーツクラブ(恐らくセサミスポーツクラブと推定される)の利用で代替することを検討していることが推察されます。25年度以降、再編計画が具体的に策定され、その過程では市民意見を聴取することとありますので、その際意見を申し述べるべきかと思いますが、この由々しき計画について今の段階から意見を申し上げたいと思います。ご承知かと思いますが鎌プーは2年前の2011年2月に管理棟の耐震強度不足を理由に閉鎖されかかりましたが、鎌プーを何とか守りたいとの有志が集まり鎌プーを守る会を結成し、7000名近くの署名を集めて鎌プーの閉鎖を阻止し、プレハブの管理棟を使っでの開場に漕ぎ着け、現在に至っています。この過程で鎌プーを守る会が市民の意見を調べたところ、多くの市民が鎌プーの魅力として次のことを挙げていることが判明しました: 1. 鎌プーは、豊かな自然に囲まれた屋外の開放的な雰囲気にあること 2. 50mプールで、他人に妨げられることなく長距離を思い切り泳げること 3. 児童プールで、子供を安心して遊ばせることが出来、親子共々リラックス	●本基本方針では、「スポーツ施設」やその他の公共施設につきましては、モデルパターンの基本手法や、モデルパターンの例示ということで記載をしております。具体的には、民間事業者への委託、企業や学校施設との共用化による運営経費のコスト縮減などですが、これらは、他市の実施事例等であり、今後、公共施設の再編を皆さまと協議していく際の検討素材の一つであることを、ご理解いただきたいと思います。公共施設再編を検討するにあたっては、当然、なぜ施設がそこにあるのかといった歴史的な背景や、現在、利用されている皆さんにとって大切な「場」であることを認識しています。そうした中で、公共施設再編の課題を全市的に捉え、利用実態の詳細や、施設の必要性等を改めて検討する必要があるものと考えています。その際には、施設と機能の分離や、公設公営の発想転換など、行政サービスのあり方の見直しの視点をを用い、良質な公共サービスの提供を図っていきたくと考えています。今後、再編計画の策定の過程において、関係機関との更なる調整を図るとともに、市民の皆さまでからのご意見を踏まえて検討していきたくと考えています。

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
		モデル パターン、個 別課 題、用 途課 題等			(前ページからの続き) 4. けばけばしさが無く質実剛健で、古都鎌倉の雰囲気にもピッタリ合っていること 5. 夏休み中、鎌プーに来れば多くの学校友達に会うことができ、情報交換ができること これらは何れも鎌プーであるからこそ可能なことであり、(セサミのような)屋内のプールでは実現不可能なことであります。プールの機能は単純に泳げることだけではなく、それ以上のbenefitを齎してくれることを充分に考慮する必要があります。 ここでアクションプランと鎌プーの現状との関係をみて見ますと; 鎌プーは現在既に自分のプールを持たない御成小学校、稲村小学校、第一小学校のプールとして使用されており、今回の基本方針にあるアクションプランの施設の共用化をかなり以前から実践しております。 また鎌プーの来訪者を見ると、鎌倉市住民以外に横浜市、藤沢市など近隣市からの人々が多く、アクションプランの広域利用も既に実施済みであります。 施設の運営面でも、外部会社のオーチューに管理を外注しておりアクションプランの施設運営の外部化(指定管理者制度等)を既に実施済みであります。 このように鎌プーは極めて先進的に基本方針に沿った対策を既に打ち、その上で上記のような熱い支持を市民の多くから得ているので、鎌プーを廃止し民間スポーツクラブに代替させるということは理に叶っておらず、この計画は取り下げるべきだと思います。 然し市の掲げる公共施設のコスト削減と云う目的を達成するために、施設の長寿命化は検討に値すると思います。鎌プーは1956年に建設ですから、建替え・更新時期は築後60年とすればあと3年と言うことになります。然しプールと云う構造上、トンネル、高架橋、橋などと違って構造物の劣化による事故の発生する危険性は低く、耐用年数を経たからと云って一律に廃棄/建替えすると云う必要はありません。築後70年・80年と長寿命化することにより、建替えコストを省略でき、少ない維持管理コストでプールを継続使用することが可能と思われます。市民の多くはピカピカの新しいプールを望んでいるのではなく今の姿で使えることを望んでいることを申し添えます。 以上のような理由により今回の基本方針に沿った形で鎌プーを少なくともあと10数年は存続させることが可能だと思います。 今回の公共施設再編計画基本方針ではコスト削減の面が強調されていますが、行政サービスの質の面が殆ど議論されておりません。この点は次年度以降の再編計画の策定の段階で市民の意見を充分聴取して頂き、コストは削減できたが行政サービスが著しく低下した(ある程度の低下はや無を得ないが)と言うことの無いようにして頂きたいと思います。	(前ページからの続き) なお、基本方針においては、モデルパターンがモデル事業と誤解を招かないよう、モデルパターンの名称を「再編パターン」と変更しました。
88	31		プールの共用化はなされており、グラウンドの民間施設利用による廃止には反対である。	31ページ下段	プールの共用化はなされている。グラウンドの「民間施設利用による廃止」には反対です。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
89	13		統廃合等については、地理的条件が変わることによって、活用しにくくなるので、考慮してほしい。	P.28	公共施設の廃止・統廃合については今まで活用できる地理的条件が変わることによって、活用の回数が減らされてしまうので、考慮していただきたいです。	(前ページからの続き)
90	47		モデルパターンの基本手法について、他市の業者が多く、明示するのは意図が露骨である。	P.28	他市の業者多すぎ明示するのは意図が露骨すぎる。	
91	31		民間会議室の活用にあたっては、印刷機能等が不足しており、難しいと思う。	30ページより	「集会機能」ではありますが、「民間会議室」の活用とありますが、重役室や銀行のミーティングルームを借りるはずは無く、一番近いのは民間でなく、「本庁や支所」です。印刷機能があり、場合によってはコピー機能や丁合機能が有ろうと思われます。市民はただ集会するだけでなく、協議結果をパソコンから印刷配布したりポスター作製をしたりできる集会機能が不足している訳です。書き換えていい案は出していただけませんか？	
92	2	モデルパターン、個別課題、用途課題等	モデルパターンの広域連携について、図書館だけでなく、早く進めてほしい。	P.34	モデルパターン⑥ 広域連携 隣接市の施設使用の連携は、早く進めてほしい。 図書の貸し出しは藤沢図書館でも既に可能であり、利便性が高い。 しかし、体育館のジム施設利用は、藤沢市民か市内勤務者のみで、鎌倉市民は利用できない。他市隣接地域住民にとっては、広域連携は非常に利便性の高いものであり、結果的に施設の効率化に寄与する。	●広域連携については、取組方針(アクションプラン)でもお示ししているように、検討を進めていきます。
93	18	モデルパターン、個別課題、用途課題等	「総合的保全計画」・「財政との連動」の中で、考え方は既に盛られているのかもしれないが、予算の枠というまな板の上で、深沢地域国鉄跡地周辺整備などの現在進行中のプロジェクトなどについても、総合的に価値判断する工程が必要である。	(記載なし)	④税の使い方としての総合的検討 「再編計画基本方針」の25頁「総合的保全計画」・「財政との連動」の中で、考え方は既に盛られているのかもしれないが、①と②の作業を対比し、予算の枠という俎板の上で総合的に価値判断する工程が絶対に必要である。 その際忘れてならないのは、この再編計画の外にあって現在進行中の金食い虫の開発プロジェクトの存在であり、それも同時に俎上にのせる必要があるということである。 その最たるものは「深沢まちづくり」プロジェクトであろう。おおまかな事業費、市の後年度負担などが、今もって市民に示されないまま、鎌倉市の大船整備事務所は新年度入りを期して都市計画手続きに持ち込もうと意気込んでいる。(注2) 新鉄道駅建設にかかる分担金含め200億円を超えると噂されるこのプロジェクトも視野にいれて、検討願いたい。 かかる開発プロジェクトについては、貴重な市の保有地の売却など特別勘定の内部で操作されることも予想されるので、一般勘定だけでなく、特別勘定での負担も併せて真に税の使い方、資産処分としてバランスのとれたものなのかどうか総合的に検討されたい。 (注2)本年1月付の第3次鎌倉市総合計画ー第2期基本計画ー総括表化結果報告書48頁参照 →全文は整理No.15参照	●本基本方針は、次期基本計画の前提となる計画の一つとして位置付ける予定です。 深沢地域国鉄跡地周辺整備事業の区域内に、今後整備することとなる公共施設については、可能な限り本基本方針の考えに沿って計画を進めていくこととなりますが、事業そのものについては、次期基本計画や実施計画の中で検討していくものと考えます。
94	16	全般、その他	世界遺産を目指した対応が感じられず、鎌倉の持つ「文化性」をどう活かすかが欠けている。	(記載なし)	世界遺産を目指した対応が感じられません。 鎌倉の持つ「文化性」をどう生かすかが欠けています。	●今後整備していく公共施設については、歴史・文化・景観などに配慮したデザインとしていくことを、公共施設マネジメントの3原則に位置づけています。

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
95	4	全般、 その他	図書館で本を借りるという行為に1,000円の運営コストがかかっていることを認識できた。	P.19	次に同項目の「受益者負担の見直し等」に関連して、先日(2月2日)のシンポジウムの席上、確か南委員であったかと思いますが、「図書1冊を借りるのに1000円のコストが掛かっている」とのご発言がありましたが、その算出根拠はさて置き、相当のコストが掛かっていることは確かであり、早速「図書館振興基金」に寄付をしてきました。	●施設やサービスにかかるコストを利用者の方々に知っていただくことは、重要なことだと考えています。 今後具体的な再編計画を進めていく中で、コストを明示していくことも検討していきます。
96	4		問題意識の共有化や市民と協働で課題解決を進めるために、サービスを受けた場合のコストを明示するなど、本基本方針を認識できるような工夫を凝らすことが大切であると考ええる。	P.25	引き続き25ページ(3)「市民・民間業者との協働」の第3項目「問題意識の共有化、市民と協働で課題解決」を醸成して行く為に、＜推進体制＞「市民への情報発信・情報提供」に当っては、上記の「図書館」の例で言えば「図書借入窓口」に借入コストを明示するなど、本庁・支所の窓口に市民が現れた時に本方針を認識できるような工夫を凝らすことが肝要であると考えます。	
97	18	全般、 その他	老朽化対策コストについて、おおまかでよいので提示してほしい。	(記載なし)	事務局が相当の労力をかけて「公共施設白書」を作成し、それに基づいて今回の基本方針をまとめ、公益施設(注1)の一斉の老朽化/洗い替えの時期の到来という危機に警鐘を鳴らした点については多ししたい。 しかし、これを個々の公益施設に対する指針とするにはまだ相当の距離があるように思う。 (注1)この基本方針は、いわゆるインフラ(道路、橋りょう、下水道など)については別扱いなので(9頁参照)、私は広義の公共施設からインフラを除いたものを指して、以下「公益施設」という言葉を使うことにした。 事務局もそれを意識してか26・27頁において、これからのロードマップとして時系列との対比で多くの計画群を列挙しているが、計画実施のプロセスの大筋を市民に理解させる資料としては解りにくい面もあるかと思う。 ここでは今後のプロセスとして強調されるべきポイントについて私の考えを述べたい。 ①老朽化対策コスト把握 小・中学校については、耐震診断・構造上の点検も進み、近未来の修理も個々の施設を対象に実施計画がたてられているようだが、それ以外の公益施設については、安全面からの点検がこれからといったところもある由である。今後点検を徹底し、個々の施設にたいする補強・補修・リノベーション・建替えなどの代替案も含めて、その予算・将来の行政コスト負担についての計数がおおまかでよいから呈示してほしい。 そうでないとその整理・統合・廃止について判断できない。 →全文は整理No.15参照	●大規模改修、建替え等にかかる将来の更新コストは、約56.7億円/年と試算しています。
98	17	全般、 その他	再編計画が総合計画の前提ということは、優先するという意味か。	22	再編計画が総合計画の前提というのは、優先するという意味でしょうか。	●本基本方針は、次期基本計画の前提となる計画の一つとして位置付ける予定です。
99	31	他	鎌倉市の基本構想及び基本計画が定める豊かな市民生活の実現の道が、中断あるいは逆戻りすると強く感じる。	全般②	市の基本構想(ならびに基本計画)が定める豊かな市民生活の実現の道が、財政的な理由で中断、あるいは幾つかの点で逆戻りする。全体を読んで強くこのことを感じます。	
100	1	全般、 その他	この取組について、5W2H(誰が、いつ、どこで、何を、どうする、なぜか、いくらか)をまとめてほしい。	全体	1.膨大な資料の作成ご苦労さまです。 しかし、残念ながら、民間企業出身の小生にとって、本基本計画の骨子が明確に把握できません。 5W1H(現在は2H?)に基づき、A3版1枚(民間企業の基本)にまとめたものをぜひ拝見したい。	●本基本方針では、ロードマップなどを作成し、分かりやすさを意識しましたが、いただいた意見を参考に、今後も分かりやすい資料作りに努めたいと考えています。

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
101	1	全般、 その他	利用者の視点がなければ、絵に描いたもちにすぎない。	全体	2.肝心の利用者の視点が何処にも見当たりません。例えば、いつも一杯と なっている学習センターの利用者のニーズを、如何に把握して計画(案)を策 定したか、不明です。管理者である役所の上の視点だけでしたら、いかに手 間かけ作成されても、それは絵に描いたもちに過ぎません。	●利用者のニーズ等につきましては、平成23年 度に作成した公共施設白書や、今年度実施した 利用者アンケートにより、把握に努めており、公共 施設として提供している「場」が重要であることは 認識しています。 しかし、厳しい財政状況を踏まえると、本市で建 築物を整備し、運営する必要があるかという視点 や公共施設の複合化等による効率化ができない かという視点などが必要です。 将来の市民となる子どもたちに健全な財産を残 していくために、本基本方針を策定し、施設と機 能の分離や公設公営の発想転換により、良質な 公共サービスの提供を図っていきます。 今後、再編計画の策定の過程において、関係 者との更なる調整を図るとともに、市民の皆さま からのご意見などを踏まえて、検討していきたい と考えています。
102	31		財政的な事情による課題が公共施 設再編の目的化しており、大げさな 表現である。	全般①	財政的な事情について課題の記述が「再編」を目的化して大げさな表現にす ぎます。市民としてはより冷静な分析を先ずのぞむ。	
103	36		本基本方針には反対である。	(記載なし)	市民の基本的人権、生存権にかかわる問題ですね。 これから公共施設を増やすという構想ならば、土地がないからビルの中へと 言うのも判るが、今、有る公共施設を無きものにして、そんな不便を強いる のは以ての他。 今ある大船行政センター、大船図書館はしっかりしている。老朽化が目立つ なら順番に修繕して大切に使用すべきだ。公共施設には多数の市民の文化 や運動などの生活がつまっています。徒歩や自転車で行けるからこそ、健康 を維持できるほどの回数を足を運べるのです。遠方になればそうはいきませ ん。高齢になればなおさらです。病気にならず、健康に年を重ねる、これほど 国に市に社会に奉仕はないだろう！それを助けるのが公共施設だ！公共施 設は市政の誇りであり財産では有りませんか。 税金を自己資本金の様な感覚で経営的マネジメントするなど言語道断で す。この度の計画案には行政のあるべき姿が全くなく、貧しく不安な鎌倉市 民の行く末の心配あるのみです。 発想を替えるというのは前向きにします。 1ヶ月で市民の意見をととはとても短すぎです。もっと、広く多くの市民にもっと 判りやすく説明し、意見を聞いてください。 学校の空き教室の利用も子供達の環境を守る点で問題があります。目的別 に独立したものである必要があります。市民の命と暮らしを守るのが行政で 有ることをお忘れなく、宜しくお願いします。この度の基本方針(案)は市民不 在であることから反対です。	
104	8		安易な予算削減の方向性に疑問を 禁じ得ず、本基本方針は根本から再 考すべきと考える。	全体	鎌倉市の公共施設の統廃合に伴う予算減額の方向性は最初から結論あり きの匂いがプンプンします、改革に名を借りた暴挙です。 「そこのけそこのけ改革が通る」どんなことでも改革と名が付けば、すべて合 理的で正しいという風潮がはびこっていることに私は疑問を感じます。 市民に対する行政サービスを減らすことが健全財政に資するなどということ は地方行政のイロハを全く理解していない委員会の結論であると思います。 身近な市民サービスこそが市政の原点であるべきで、安易な予算減額・縮 小の方向性に疑問を禁じ得ません。 公共施設等老朽化対策については、毎年少しづつ手を付けていく等、創意・ 工夫によって出来るはずで、施設を無くしたり無理矢理な統廃合や民間委 託などをやり、予算の減額を図ること程、安易で簡単な方法ではないでしょ うか。こんなことは誰でも出来ます。 全く利用の少ないものまで、統廃合等をするなどとは言いませんが、市民サー ビスの低下をさせずに、なんとか健全運営していくのが行政マンの腕の見せ ところで、市民もそれを期待しているのではないのでしょうか、今回の鎌倉市公 共施設再編計画策定委員会の基本方針(案)は根本から再考すべきと考え ます。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
105	39	全般、 その他	これから先、子どもたちや周りの人の重荷にならないよう、元気で過ごしたいと考えており、そのためにも、コスト、コストと言わずに公共施設を充実させ、市民の方を向いた計画をたててほしい。	(記載なし)	私は、鎌倉市公共施設再編計画基本方針(案)があることすら知りませんでした。友人が教えてくれてわかりました。 あまり沢山の中身で、私にはよく分りませんが、とても大事な問題だと思うと、市民のどれだけの人が知らされているか心配になります。 しかも2月26日までに出しなさいとは、市側から、もっと丁寧に説明とか案内があるべきだと思います。 私は、定年まで働いて、70歳になりました。町内会、老人会、年金者組合など、今までとは違う友人とお付き合いが始まり楽しく過ごしています。しかし、何か行事をしようとか、会議を開きたいと思っても会場がなかなか見つかりません。公共施設がとても少ない、料金が安い、備品(椅子・マイクなど)も別料金がかかりとても不満です。 これ以上、財政困難を理由に不便にしないでください。 施設が老朽化しているというなら、よく調査をして、必要・緊急性を決めて毎年少しづつ修理していったら一度に莫大な予算をとらなくても、よいのではと素人は考えます。 昨年の笹子トンネル事故を例に出されてのご挨拶には私は脅迫されているような気持ちになりました。また、「鎌倉市公共施設再編計画策定委員会」というのは専門分野で、とありますが、どんな方々で何人位で作られていらっしゃるのか、幼稚な質問もしたくなります。 これから先、子供達や周りの人に重荷にならないよう、元気で過ごしたいと考えています、そのためにも、公共施設を充実させ使いやすくして、コスト、コストと言わずに市民の方を向いた計画をたてて、欲しいです。	(前ページからの続き)
106	46		公共施設の再編は、一見、経費削減で効果があるように見えるが、経費削減ならば他にやるべきことがあり、本基本方針には、民間委託の記述はあっても、「市民との協働」という視点は欠落しており、再考を願う。	(記載なし)	行財政改革は急務の課題である。しかし、施設の統合、廃止、民間委託といった方法はあまりに乱暴である。私は強く反対する。 経費削減ならば、まだまだ他にやるべきことがある。市のマスタープランの作成費の外部コンサルへの委託費の打ち切り、事業評価(鎌倉版事業仕分け)の構想日本への委託費をカットすること、教育委員会委員、農業委員会委員、議会選出監査委員・・・への月額報酬の見直し(日当制への切りかえ)、外部有識者顧問への月額固定報酬の見直し(大幅減額)、土地開発公社の廃止(土地買い取りの市の予算の見直し)等々、いくらでも行財政改革で実施すべき項目はある。そちらこそ、先に実行すべきと考える。 公共施設の再編は、一見経費削減で効果があるように見えるが、住民サービスの低下という視点から、絶対に認めることはできない。 今回の基本方針(案)には、民間委託の記述はあっても、「市民との協働」という視点は全く欠落している。鎌倉はNPOセンターを市民との協働でいち早く立ち上げ、市民団体と一緒にまちづくりを行なう姿勢を長く維持してきた。今回の基本方針(案)にこの視点がいないのは残念でならない。再考を願う次第である。	
107	9		お金の問題ではなく、命の問題である。	全体	お金の問題ではなく、命の問題です。 ----- そんなことで、市政が努まるのでしょうか	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
108	10	全般、 その他	公共性と効率性のバランスを図っていくことが、計画する上で大切であり、市民合意を前提にバランスのとれた再編を進めていくべきである。	P.28・31	「できるだけ公共施設の機能を維持しつつ、最大限、財政負担を減らす」という視点は理解できます。 ただ、気になるのは、財政効率ばかりを求めているはいけないということです。公共性と効率性のバランスを図っていくことが計画に、大切であると考えます。 例えば、図書館について、業務委託や外部化の可能性が記載されていますが、最低限、文化都市としての中核施設は公設公営で整備すべきです。そのうえで、支所にある図書館の共用化・複合化を検討していくことなど、市民合意を前提に、バランスのとれた再編整備を進めていくべきです。	(前ページからの続き)
109	14		公共施設の意義を確認することが大切であり、公共施設が減ることにより住みにくくなると、より人口が減り、悪循環に思うので、再編計画には反対である。	(記載なし)	まず、市の公共施設の意義を市民の一致点として確認することが大切だと思います。公共施設は市民一人一人の税金で保有されており、市民生活がより豊かに、そして安心して生活できるための大切な財産です。ここで言われている「基本姿勢」に「危機意識を共有」ということ自体がまちがっているように思います。市民の意識を「しかたない」とあきらめる方に誘導しているように感じます。 住みにくくなると、より人口が減り税収が減り悪循環になっていくと思いますので、ここに示されている再編計画については反対です。	
110	16		「市民サービス」のあり方がみられない。	(記載なし)	行政の基本である「市民サービス」の有り方が見られません。	
111	18		再編計画を論じるにあたっては、社会福祉に必須な公益施設の将来計画も併せて俎上にのせ、それとの兼ね合いについて市民を巻き込んだ議論が必要だと思う。	(記載なし)	②公益施設の真のニーズおよびその利用の実態把握 鎌倉において老いているのは施設だけではない。市民も老いていく。少子高齢化の先進(?)地域として、今後相当期間、高齢者・低所得者向け、子育て関連、など社会福祉についての公共サービス機能のニーズとその切実さは逐年増加すると予測される。市は基礎自治体としてそれに応えねばならない。 勿論その提供の仕方についての効率化を再考する必要があるが、そのサービス提供の場としてある程度の公益施設は欠かせないし、その機能維持・充実は必須でもある。 市の窓口を巡っての私の調査によれば、待機者が600人に達するにもかかわらず、鎌倉市の「特養」施設の追加は来年竣工が予定される1棟(100人)のみで、その後の建設計画はなにもないとのこと、これでは切実な入居必要者に順番が回ってくるのは死んでからということになりかねない。身障者を含め住宅困窮者に対する公営住宅の提供についても整備計画は全く無く、ただ年間12軒ほどの空となる住宅を新規提供しているがその倍率は15倍とのことである。これでは基礎自治体としての最低義務を満たしているとは言えない。 再編計画を論じるにあたっては、この際社会福祉に必須な公益施設の将来計画も併せて俎上にのせ、それとの兼ね合いについて市民を巻き込んだ議論が必要とおもう。 →全文は整理No.15参照	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
112	19	全般、 その他	コストとストックについては、相互の関係を断つべきであり、運営コストが歳出の54%を占めているのは、言い換えれば市民サービスの度合いを示すもので、今までの市政を評価したい。	☆公共施設マネジメントの3原則(P18)	「図表・公共施設マネジメントのあり方」「コストとストックの総合的、横断的に計画、運営する」では、公共施設を売却して乗り切れるならだれでもでき、知恵がなさすぎます。市民の財産である公共施設をコストが足りないから売れるようにするマネジメントの考え方がおかしいです。コスト維持のために、今まで積み上げてきた市民の財産「資産＝ストック」を売却などとんでもない。「コスト」と「ストック」を分けるのをやめて相互の関係を断つべきです。「市政運営を市民・民間事業者等へアウトソーシングの促進」は市民サービスの向上への責任放棄ではないか。市役所で働く人の賃金や雇用が削られ民間への影響などを考えるとデフレ不況を促進する自治体でいいのですか。「各施設の運営コストが歳出全体の54%を占めている」は言いかえれば市民サービスの度合いを示すもので、今まで積み上げてきた市政を評価したい。	(前ページからの続き)
113	20		なぜ今、公共施設削減なのか。 高齢化が進むなか、高齢者が健康で、元気に生きられる環境を作ることが重要ではないか。	(記載なし)	基本方針の文章が長く、専門的で全部を理解できませんが、鎌倉市の財政削減のために、公共施設を減らそうとする計画なのだとことは理解できました。 基本的に疑問なのはなぜ今、公共施設の削減なのかということです。鎌倉市は近隣の自治体と比べても高齢化が進んでいるといわれています。 行政にとっては高齢者が健康で、元気に生きられる環境を作ることが重要ではないでしょうか。 私も年金生活になり、サークルや趣味の集まりなどで、学習センターや、レイウエル鎌倉などを良く利用します。自宅の近くにそういう施設があるということはとても大切なことです。 施設を集約して数を減らしたり、廃止することは高齢者を家に閉じ込める施策ではないでしょうか。鎌倉市は病気になる高齢者を増やそうとしているのでしょうか。 高齢者が多くの友人たちと楽しめる場をもっと増やし、料金も安くし、利用しやすくすることが大切なのです。 またレイウエル鎌倉の「子育て支援」の部屋には幼児を連れた若いお母さんがたくさん集まっています。こういう場所も無くなってしまうのでしょうか。 建て替えが財政的に無理なら少しづつでも耐震化をすすめるべきです。 また、多くの市民がこのような計画があることを知りません。このような意見書を集めたからと言って「市民の意見を聞いた」と思わないでください。 国でも県でも「行革」「行革」といって国民を苦しめています。鎌倉市はそんな悪い政治家の真似をすべきではありません。	
114	27		公共施設再編計画基本方針(案)を、見直してほしい。	(記載なし)	□「公共施設再編計画基本方針」(案)を、基本的に見直してほしい。 →全文は整理No.12参照	
115	32		全部の建物を維持できるわけがないので、必要なものに集中していくべきではないだろうか。	全体	②全部の建物を維持できるわけがないです。すぐさま、廃止で減らして必要なもの(学校など)に集中して行くべきではないでしょうか。学校などを除いて、利用していない、求めている市民が大多数だと思います(学校は、ボロボロすぎるので手入れしてほしい)。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
116	32	全般、その他	あれも欲しい、これも欲しいは無理であり、早く継承可能な建物に整理してほしい。	全体	④ 笹子トンネルの事故が建物でもいつ起きてもおかしくないのに、利用者や関係団体などの既得権者、それに踊らされている市長、議員などは、事故が起った時の責任をどう考えているのでしょうか。彼らは聞き分けの無い子供のようです。全部の建物の手入れが行き届くわけがありません。いち早く、子供達(居ませんが孫達)に継承可能な建物に整理してほしいです。家計と同じで、あれもほしい、これもほしいは無理です。赤字間違いなし?の世界遺産、文化財、美術館公共施設もいらないです。贅沢すぎる芸術館もいりません。	(前ページからの続き)
117	13	全般、その他	各施設の安全点検を慎重に行ってほしい。	P.29	長寿命化・・・各施設の安全点検を慎重にお願いします。	●安全性の確保を図りながら、公共施設再編計画の策定作業を進めていきます。
118	42	その他	公共施設を統廃合し委託、民営化する方向ではないかと心配である。市民の安全などのために公共施設が身近にある事を願っている。	(記載なし)	専門的な用語が多く理解できません 多くの市民にわかりやすくできないものでしょうか 市の財政が困難になるので市の施設を等廃合し依託、民営化する方向ではないかと心配しています だれでも利用できる(高齢者や子ども)市の施設が身近にある事を願っています 市民の安全、健康福祉を守るために国に向けて補助金の増額を要求するよう願っています	
119	26	全般、その他	津波発生時の避難対策の充実を図るだけでなく、施設を選んで手を加え、津波避難ビルとしていく(高さ制限の撤廃も検討)ことも積極的に行うべきである。	「鎌倉市公共施設再編計画のまとめ」のページ(A3)	■5つの取組方針の2に「津波浸水予測エリア内に立地する施設については、エリア外の施設との複合化や機能移転等の検討を進めるとともに、津波発生時の避難対策の充実を図る」とあり、また5に「現在の5つの行政地域にこだわらない、公共施設の適切な配置を行う」とある。 今後津波浸水予測エリアにある鎌倉地域で公共施設の統廃合が進む可能性があると思われる。「津波発生時の避難対策の充実を図る」のみならず、施設を選んで手を加え、津波避難ビルとしての機能を持たせる(高さ制限の撤廃も検討)ことも積極的に行うべきだ。	●平成26年度までに策定する公共施設再編計画の中で、津波浸水予測エリア内の公共施設のあり方について、検討する必要があると考えます。
120	23	全般、その他	5つの行政区域にこだわらない適切は配置を行うという取組方針は、賛成であり、地域住民の意見を聞くことは大切であるが、再編は大局的立場で推進する必要がある。	19頁	「現在の5つの行政地域にこだわらない、公共施設の適切な配置を行う。」なる、取組方針には大いに賛成です。地域住民の意見を聴取することは大切ですが、公共施設再編計画は大局的立場で推進する必要があります。	●これまでの、地域均等、個別の課題解決など、地域や個々にとっての最適な対応を図る場面が多かったのですが、今後は、本市にとって最適かどうかという視点が必要であると考えています。 公共施設再編の取組を進めるにあたり、留意すべきこととして改めて「効率的・効果的な市政運営」を掲げ、大局的な視点を持って、公共施設マネジメントを進めていきたいと考えています。
121	19		「効率的、効果的な市政運営」は行政の仕事であるのに、なぜ「基本方針の目的」に入れるのか。	☆基本方針策定の目的(P.2)	「次世代に過大な負担を残さない」という言葉がたくさん出てきますが、鎌倉の公共施設という財産を次世代が使えるようにすることも「次世代に過大な負担を残さない」ために大事です。「効率的、効果的な市政運営」は行政の仕事であるのに、なぜわざわざ「基本方針の目的」に入れるのですか。	
122	29		これまでの仕組みの問題点とどこに問題があるかを理解して対策を打つことが重要であり、最良の方策であるとする。		1こうなる(補修、更新資金がなくなる)までに至った総括がない 他の自治体でも起きているというのは理由にならない。市がこれまでの投資案件の採択と管理の仕組みの問題点と、組織体制に漂う職員のカルチャーをよく分析、問題が奈辺にあるかを理解したうえで対策をうつことが重要で、同じ問題に陥らないための最良の方策であるとする →全文は整理No.22参照	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
123	29	全般、 その他	資金面からの投資の可否の判断がない。		3資金面からの設備投資の可否の判断がない 民間では設備投資の可否は所定年数の利益で投下資本が回収できるかどうかで判断する。そして回収後は只で設備が使える、高収益をもたらすので、それが投資の意欲付けの1つとなっている。この考え方は自治体でも使える、個別事業の可否の判断はもとより市全体の事業計画が回っているかの判断の材料としても有効で、導入すべきである →全文は整理No.22参照	(前ページからの続き)
124	29		投資の基準がなかったのではないか。		4事業投資の材質等の基準がなかったのでは 「豪華なものではなく目的にかなう設備をつくる」を基準とすべき ① 安く丈夫なもの(30, 40年しかもたないものは作らない) ② 簡素で内部の改造が容易なもの(外観共通、可動式パーティション等) ③ 増築が可能なもの、修繕が少なく済むもの ④ 再利用、あるいは利用者の変化に柔軟に対応 小学校→中学校→集会所・体育館→老人施設、幼稚園併設 等 ⑤ 新設建物の概観、基本的構造等は出来るだけ共通にする→安価 →全文は整理No.22参照	
125	29		公共施設マネジメントについて、様々な検討が必要である。		8公共施設マネージメントについて ① 次の検討が欠かせない 事業開始時 代替案の有無とそれらの利害得失と目的達成度 計画の老人施設は学校跡地等を利用できないか 開業後 収入・支出は予定通りか点検する 目的達成時 物件は他へ転用、もしくは市場価格での売却を原則 ② 人件費等の圧縮 色々理由があったものと考えるが、歳入の54%が人件費・物件費で真水は46%というのは如何にもおかしい、市民が望む行政サービスをしっかり捉え、それに応えつつ真水を増やす努力が求められている ③ 市民の望む施設 ニーズに沿う使い方ができる→豪華なものはいらない 管理の効率をあげ、事業を成功させ財政の負担が小さいもの そのために ・ 優秀な鎌倉市民ボランティアの活用、元気な高齢者、男性等 ・ 資産のビジネス化→適切な使用料の確保、空き時間の活用 他施設とのタイムシェア、不要資産の適切な処分、換金 ・ 市民のニーズには、工夫をかさね、応えようとする姿勢 ④ 目標の設定に最小値目標を採用するのは乱暴では 新設時の予算消化主義と同質の論理が漂い、安直な採用は危険であることを警告したい。 必要な事業は継続しながら削減の成果を挙げるためにどうしたらよいか、やはり個別の吟味を積み上げ、ロングタームの収支表で資金が回ることの確認が必要、このため修繕積立金的科目の導入、前述の収支計算表や貸借対照表の導入が分かりやすく、判断しやすい。	

整理 No.	提出 No.	分類	概要	原文		市の考え方
				該当ページ	意見	
					(前ページからの続き) 市の「基本方針」の「2改善の視点」は個別の積上げがなく毎年変わる収入との接点が不明となり分かりにくい ⑤ 改革は過去の反省から未来への教訓を得ることである。今回の「公共事業再編」により、これからの新規事業投資、途上管理、終了時処理の各実務へ何らかのフィードバックをすること ⑥ 「民間の活力」を正しく活用すること 闇雲に民間へ運用管理を丸投げせずに事業計画を全期間作成、修繕計画も含めた検討を行い適正なコストでの委託を行うこと(市が獲るべきものは獲るの姿勢) ⑦ 高コストの事業は全件個別に見直すこと、一律は全体の目標額作りの参考にはなるが個別には使えず、判断を誤る恐れあり 保全システムが分からない、もっと説明を。 →全文は整理No.22参照	
126	29	全般、その他	財政・財務からの要請を分かりやすく説明すること。		5財政・財務からの要請を分かり易く説明すること ① 物件費に人件費が含まれているはず、正確な人員規模とコストを捉え、表向きの人件費と扶助費を唐突に比較する手法は実態を捉え損ね問題を複雑化させる恐れあり、回避されたし ② 全ての事業について事業期間中の収支見通しを作成、年度単位等で収入の見通しと比較し、不足は調達を企画、修繕積立て除外後の余剰を将来の過不足に充当できる運用とする ③ 予算は使いきるもの・・・という考えを捨てる→市のカルチャーの正常化、そのために複式簿記を採用 ④ 必要な設備は新設、保存する、ただし圧縮の余地はないか検討 ⑤ 補修は安価かつ安全な方式を案出適用し、他設備の補修と共通化をはかる →全文は整理No.22参照	●いただいたご意見を参考に、今後も分かりやすい資料作りに努めてたいと考えています。